荒木飛呂彦

「球体」関係の事でスゴイ、と思った事は、「合気道」のビデオを見ていて、袴姿の若い男が正座してる60歳くらいの男（達人らしい）の頭をガシィッと両手で（なぜか）ワシ掴みする。60男は「フン！」と頭を球の動きで首をふる。すると若い袴男は2メートルくらい宙にふっ飛ぶのだ。
「ヤラセでワザと飛んだのか？」って思うほど軽軽と頭で人を投げ飛ばしたのだ。1万円以上するビデオなのでウソとは思えないし、一度投げ飛ばされてみたい。（柔らかい場所で）

●週刊少年ジャンプ・H16年35号～39号、46号、47号掲載分収録

JUMP COMICS

# STEEL BALL RUN
スティール・ボール・ラン

VOL. 4

（ジャイロ・ツェペリの宿命）

荒木飛呂彦

STEEL BALL RUN スティール・ボール・ラン VOL. 4 荒木飛呂彦 ◆ 集英社

9784088736891
1929979003906
ISBN4-08-873689-3
C9979 ¥390E
定価 本体390円＋税
雑誌 43010－89

鉄を操る能力を持つブンブーン一家の魔の罠にはまったジャイロ、ジョニィ、M・ティム！ 血液中の鉄分が互いを引き寄せあい、3人が集まった時、その肉体は破裂する!! 絶体絶命の状況の中、ジョニィの体に異変か!?

ジャンプ・コミックス

ジャンプ・コミックス

1890.sep.23

# "STEEL BALL RUN" RACE!

STEEL BALL RUN

ジャイロ・ツェペリの宿命

STEEL BALL RUN ステイール・ボール・ラン

VOL. 4

荒木飛呂彦

# $50,000,000

## Hirohiko Araki & Stephen Steel produce!!

only one this holiday—who comes close to understanding what he is about, who makes no demands on him and doesn't

only one this holiday—who comes close to understanding what he is about, who makes no demands on him and doesn't

only one this holiday—who comes close to understanding what he is about, who makes no demands on him and doesn't

集英社

## From SanDiego to NewYork!!

only one this holiday—who comes close to understanding what he is about, who makes no demands on him and doesn't realize there is something wrong.

An uncle notices the two together and makes a remark to my parents on the order of: "Isn't it nice how well those two get

only one this holiday—who comes close to understanding what he is about, who makes no demands on him and doesn't realize

An u... makes ... of: "Isn...

集英社

JUMP COMICS

# STEEL BALL RUN

ジャイロ・ツェペリの宿命(しゅくめい)

vol.4

ARAKI HIROHIKO

& LUCKY LAND COMMUNICATIONS

ジャイロ・ツェペリ

不思議な鉄球を、自在に操る特殊能力を持つ謎の男。

ジョニィ・ジョースター

元天才騎手だが、慢心から半身不随となる。ジャイロの鉄球の力に希望を見い出し、秘密を知る為、レースに参加。

マウンテン・ティム

優勝候補で伝説のカウボーイ。1st.STAGEでは第4位。

1st.STAGE 15,000メートルのスプリントレース。
ゴール前のデッドヒートを制し、勝者となったジャイロ。
しかし、サンドマンに対し走行妨害行為があったとされ、
21位に降格のペナルティを課せられてしまう。
怒りのさめやらないジャイロだったが、2nd.STAGEの
勝利を確実にする為、ジョニィと協力関係を結ぶ事に！
一方、1st.STAGEのレース中に参加選手3名が
殺害される事件が起きていた。
容疑者は選手の中にいると判断した保安官は、
優勝候補のマウンテン・ティムに犯人の追跡を依頼する――。
そしてアリゾナ砂漠を越える2nd.STAGEが始まった。
最短ルートをめざし、水場のあるコースを無視して
砂漠の真ん中を突き進むジャイロとジョニィ。
その二人をブンブーン一家の最悪の罠が待ち構えていた！
鉄を操る能力を持つブンブーン一家に接触した事により、
磁石のように鉄を引き寄せる体になってしまったジャイロ！
なんとか逃げ出し、50km先の水場を目指す二人だったが、
その『呪い』は続いていた…。

そして、犯人と思われる蹄鉄の跡だけをたよりに
追跡していたティムは、ついに犯人を突き止めた。
だがそれは、ジョニィに姿を変えた
ベンジャミン・ブンブーンだった！
格闘の末、ベンジャミンを
とり逃してしまったティムは、
ジョニィを犯人と思い込んだまま、
彼を追い真夜中の砂漠を突き進む！
そしてティムもまたブンブーンの
『呪い』に感染していた…。

全行程中にニューヨークを含め9か所のチェックポイントを設定。そこでレース順位、走行タイム、不正行為を確認する。そしてチェックポイント間のレースを『STAGE』と呼び、STAGEごとにトップ通過者には賞金とタイムボーナスが与えられる！

## 『スティール・ボール・ラン』レースとは

太平洋『サンディエゴ』ビーチをスタートし
ゴールを『ニューヨーク』とする
人類史上初の乗馬による北米大陸横断レースである！
総距離約6,000km 優勝賞金5千万ドル!!（60億円）
世界各国から屈強の冒険者達が集い、
その数は3600人を超えた！

そして1890年9月25日 午前10時00分
ついに世紀のレースはスタートした！

L.A.ブンブーン

ベンジャミン・ブンブーンの子供。1st.STAGEでは第11位。

アンドレ・ブンブーン

ベンジャミン・ブンブーンの子供。1st.STAGEでは第10位。

ベンジャミン・ブンブーン

鉄を操る不思議な能力を持つ。1st.STAGEでは第9位。

スティーブン・スティール

40年のキャリアを持つプロモーター。SBRの主催者。

# STEEL BALL RUN

## vol.4

## CONTENTS

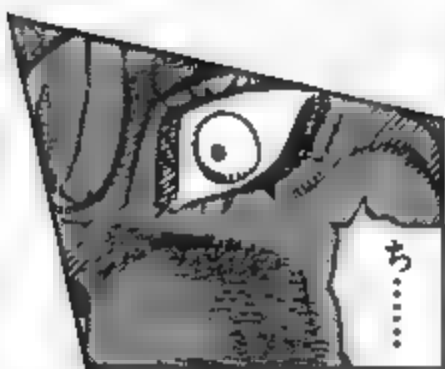
**ジャイロ・ツェペリの宿命**

あいつ
すごいスピードで
追ってくるぞ!!
ブンブーン一家の
他の2人は
見えるか!?
どこにいるッ!?
ぜんぜん
見えないッ!
……暗いし……
さっきから
あいつ ひとりだッ!
#18 悪魔の手のひら
その①

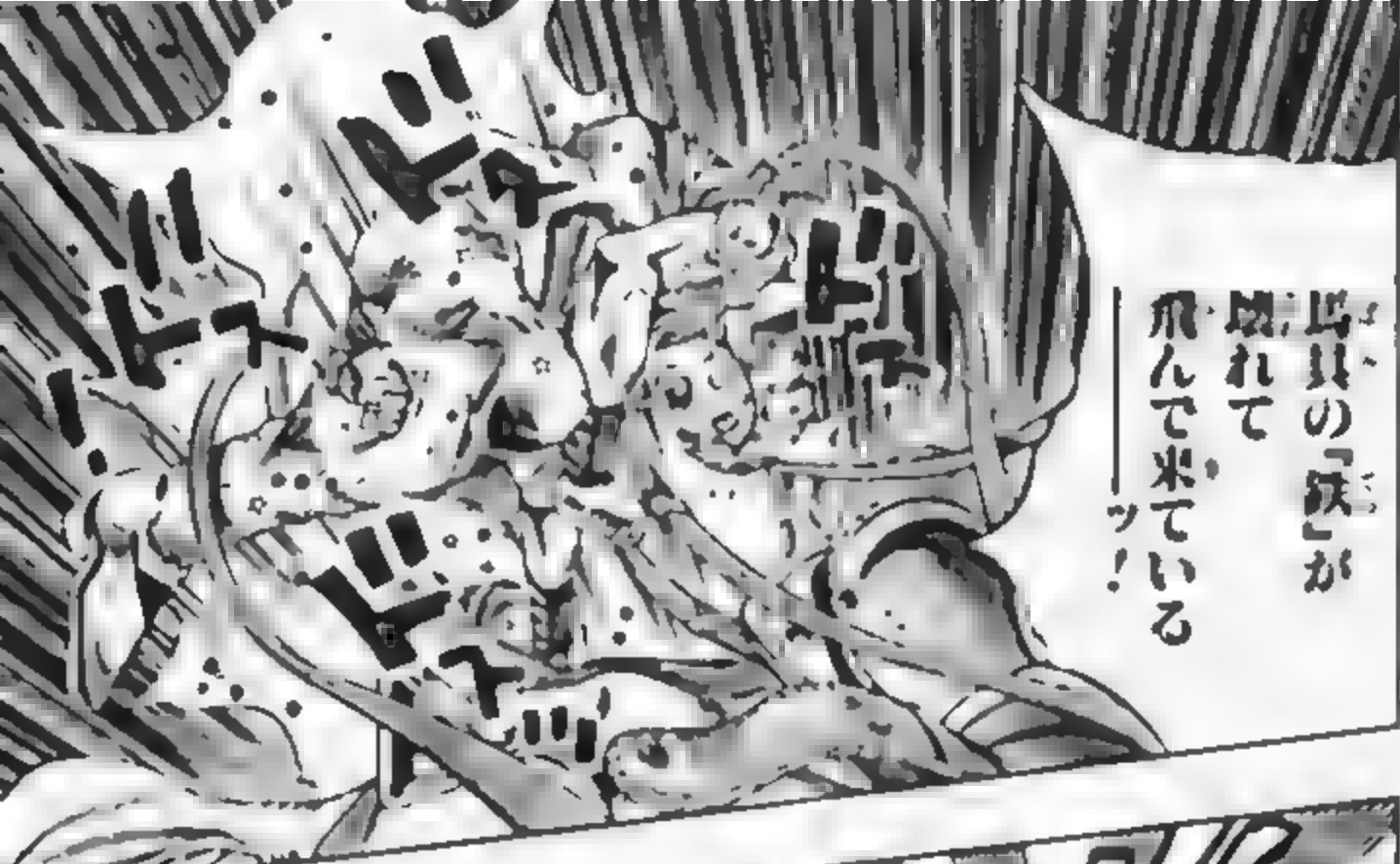
しかもまったくペースが落ちてないんじゃあねーのかッ!
さっきからよオオ3時間もあの調子だ!!
もうお互い馬がつぶれかねないっつーのに……

ダン!!
ジャ……

ドドド
ドドド
ドド
ジャイロッ！なんなんだ⁉あいつ もう岩場を登り切っているぞオ――ッ!!
ドドドド
ドドド
おい……あいつ知ってるぞ
いうとおりブンブーン一家じゃあない……
なんで あいつが夜通しでオレたちを追ってくるんだッ!!
あのスピード……尋常じゃあない……!! マウンテン・ティム！
どうする⁉ジャイロ

どうするって／つき離すに決まってるだろーがッジョニィッ／
この砂漠のSTAGEは誰だろうと近寄らせるなッ／ヤバイ理由なくこんな夜中にオレたちに近づいてくるかッ／
ドドドド
ガガガガガ
ドドドドドド
参加選手3名の殺害犯人は「ジョニィ・ジョースター」
足跡を追跡してきたらかなり信じがたい事実にぶちあたったが
とにかくなんらかの「呪われた能力」での殺害である事も確か！
必ず！ここは彼を逮捕して終わらせる！生死を問わずッ！

ドドドドド
くそっ
どーゆー
スピードなんだ〃
次の岩場も
登りやがった!!
登り坂なのに
あいつ加速してるぞ……
どうかしてるぞッ!
ち……
違う!
ジャイロ…
わ…
わかりかけて来た……!!
この状況…
そういう事じゃあ
ない……!!
まさか!!
そんな…
ドドド
……
?
彼は
加速している……!!
走ってるから
わからなかった
…それだけじゃあ
ないんだッ!!
…でも
それだけじゃあ
ない!!

ひっぱられている……後方に…‼
ぼくがッ‼
ぼくの「体」がッ‼
‼

馬具の「鉄」が
壊れて
飛んで来ている
──ッ!
ジョニーイッ!

ぐおっ
ぐはっ
やったぞッ！
落馬したッ！

さすがマウンテン・ティムだ!!
『磁力の射程』に入ってくれたッ!
これで決まりだわい!
もう あとは『磁石』になった
3人がピッタリとくっつくだけしかないッ!
ヘヘヘヘヘヘ
ヘヘヘヘヘヘヘヘ
ねえ 父さん 見に行こうよ!
もっと近くで見たいよオオ
3人の内臓が爆裂して
飛び出すとこをよオ――
おう!
なあ 父ちゃん…
オレ…なんか…スゴイ寒けがする
目がかすんで寒いんだ
なにかオレヤバイんじゃあねーかなあ
寒い~~~~?
今それどこじゃあねーだろオオ
アンドレ
それが今大切な事か?
ドバアァ

ぼ……
ぼくもいつの間にかッ!
『鉄』の磁石の体になっているッ!

ジョニィ!
おまえどこでヤツらに触られた!?
どっかで触られたはずだッ!
け…見当もつかないッ!
で…でも

だ…『弾丸』かも
最後にベンジャミン・ブンブーンが撃ってきた弾丸!あれになにかついていたのかも………!!
くそっ!ヤツらを探さなくては!!
ヤツらはどこだッ!?どこか近くでこの『磁石』を操ってるはずだ!!

……

ドドドドドド

ブンブーン一家はもう関係ないのかも……
マウンテン……ティム……

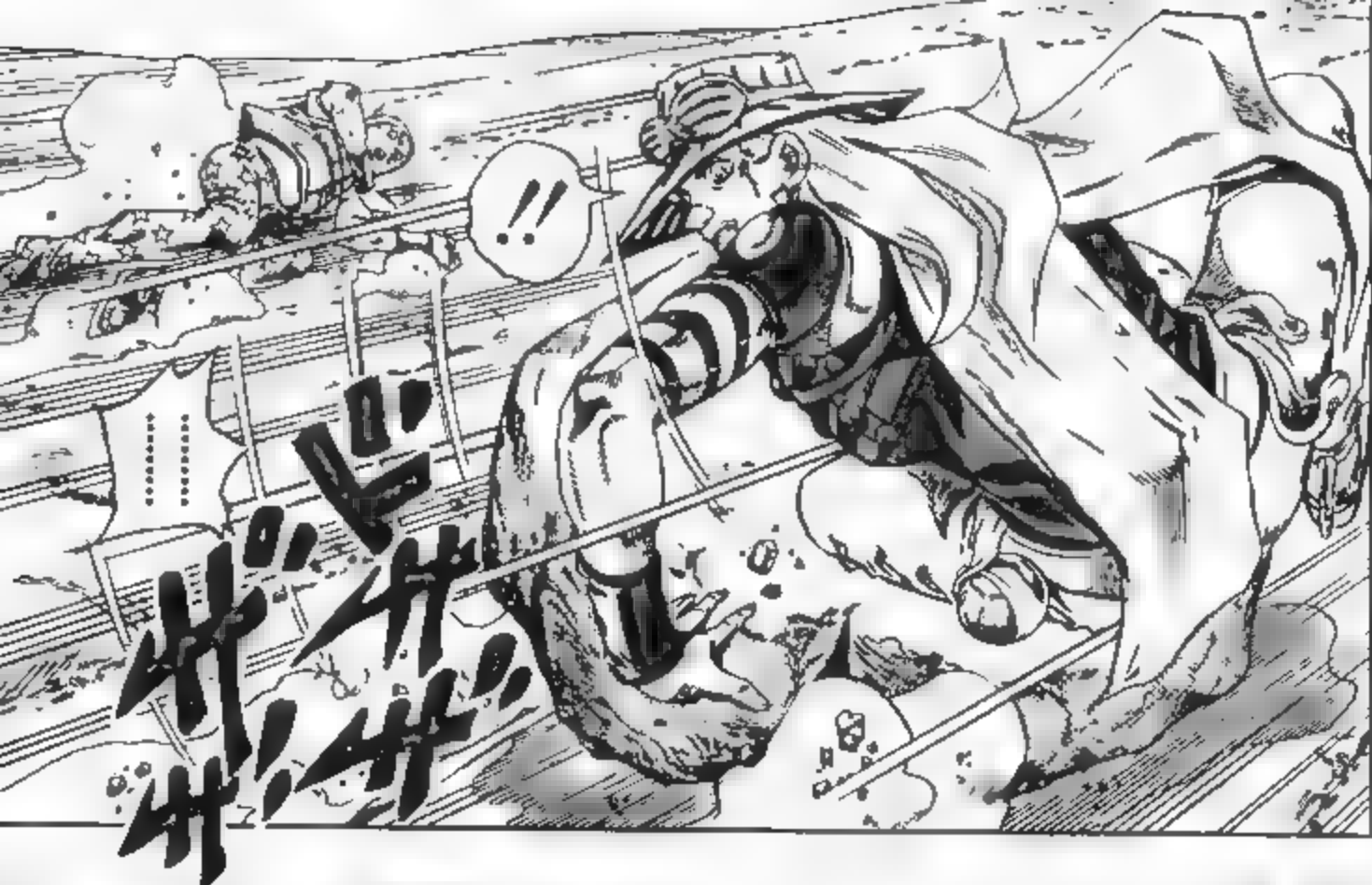
なんで ぼくらを追って来てるのか知らないが彼が近づいて来てからこうなった…

ドドドドド

……

!!

ズズズド

おい⁉ ジョニィ⁉ なにやってる‼
ひきずられて いるんだ――
う…うかつだった――
…あんたもだぞ ジャイロ

!!
……
マウンテン・ティムだッ！
きっとマウンテン・ティムもどこかでヤツらに触られたんだッ！ 彼自身 知らないうちにッ！
マウンテン・ティムにひっぱられているッ!! ぼくら3人ッ！ お互いをひっぱり合っているんだッ！

おそらく「2人の時」は弱くて気づかなかった
だが「3人」近寄って集まればお互いがお互いを引っぱり合ってきっと その磁力は相乗して
ぼくらは磁力に――!!
彼は加速して

なんでヤツは落馬しねえんだ⁉
まだ気づいてないんだ前方に向かって走っているから！
ヤツがここまで来たらどうなる⁉
腕の皮膚が裂け始めてる……
きっと血の中の鉄分が移動して集まって来てるんだ……
彼を近づかせちゃあだめだ！
おそらく3人とも最後は体が爆裂するッ！

彼に知らせないとッ！
すぐ彼が馬を降りるようにッ！
なんだ!?
なぜジョニィ・ジョースターが馬を降りてる……!?
ジャイロ・ツェペリもいる……
しかも なにか叫んでいるぞ… 砂けむりでよく見えない……
彼に声が聞こえてないぞッ！ 突っ込んでくるッ！

仮に聞こえたところで馬を簡単に降りるとは思えないがな
ドドザザザザザザ
「磁石」になってる事を教えないと彼が気づいた時は3人とも死ぬぞォッ
わかったじゃあ彼をひきずり降ろそう！
ゴバッ
うりゃあああ

だ……
だめだッ！ジャイロッ！とどくわけがないッ!!
「鉄球」は磁石になった君の体の方に戻ってくるんだぞッ！
あそこまで飛ばないッ！
わかってるジョニィ…
「磁力」で戻ってくんだよな……
「鉄」はオレのとこによォ
その「戻る」ってところがいいんだよ
ヤツを……
馬からひきずり降ろすには十分だ

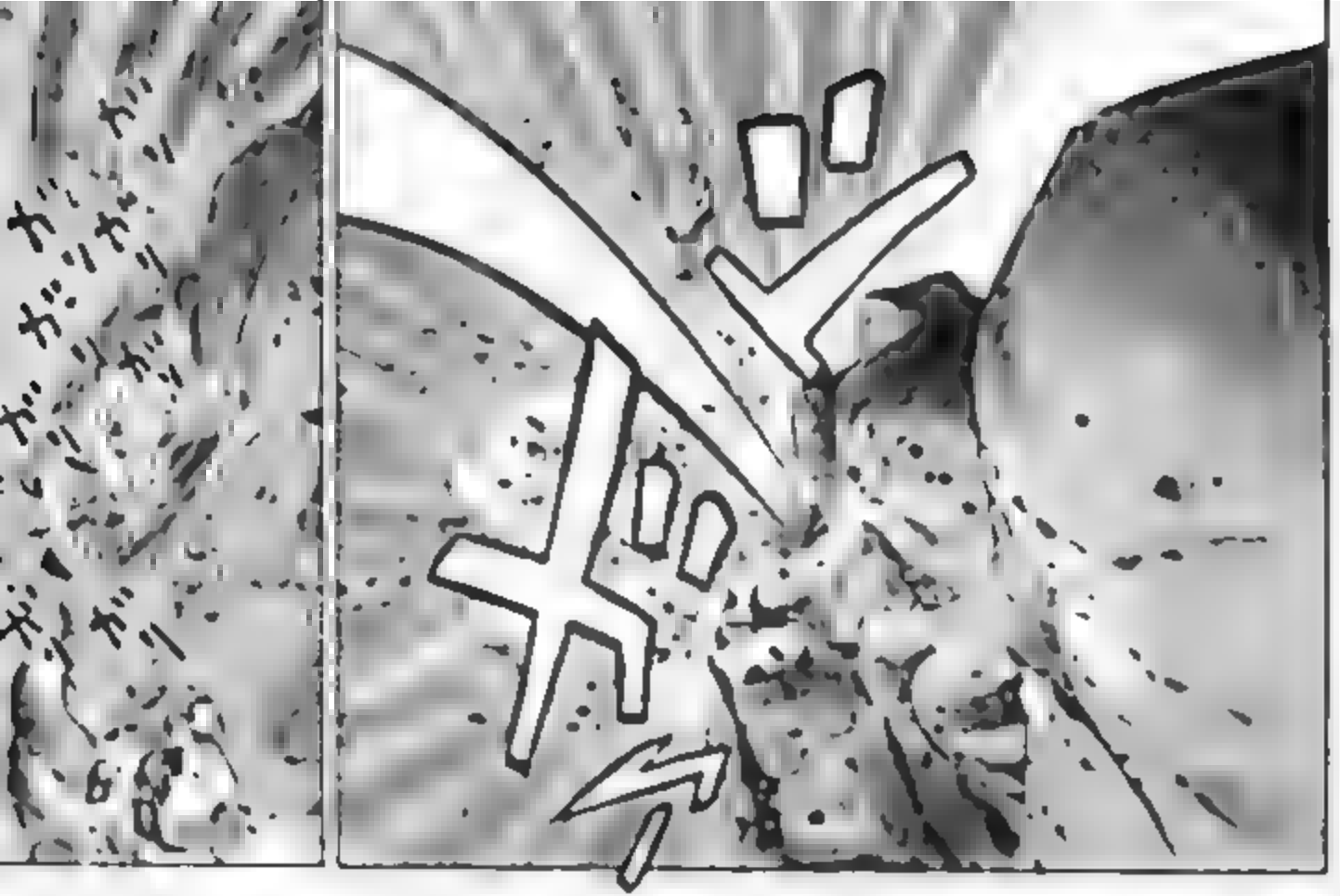
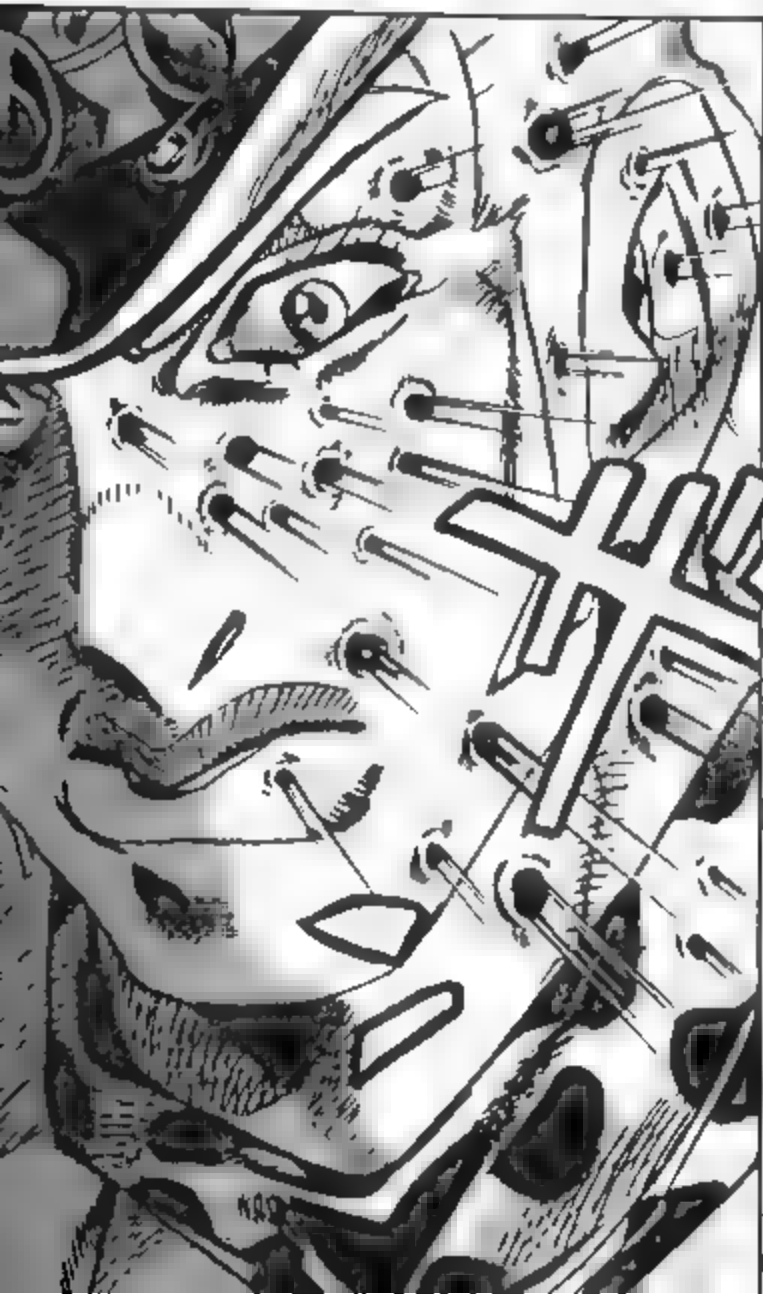
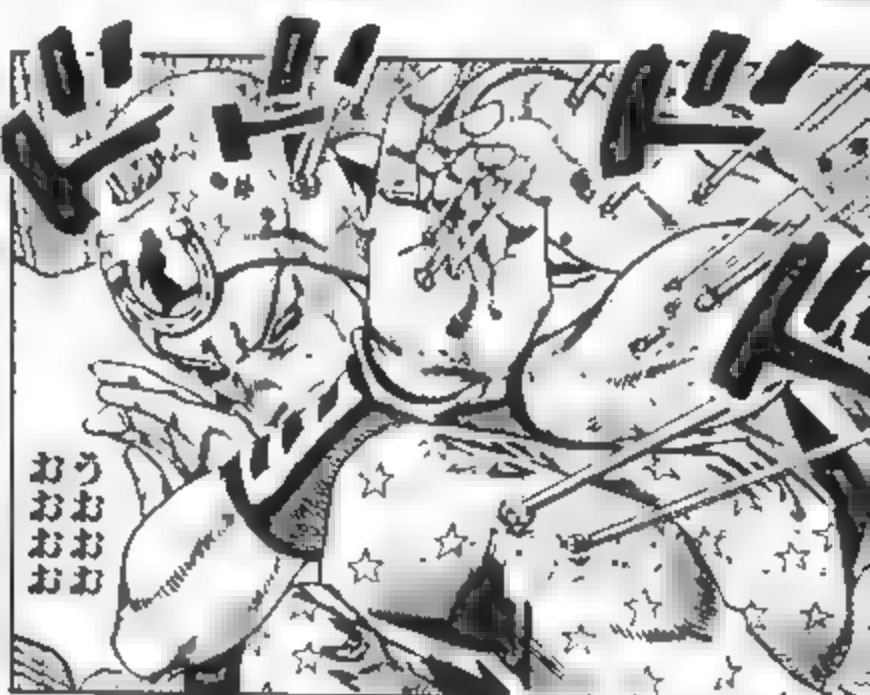
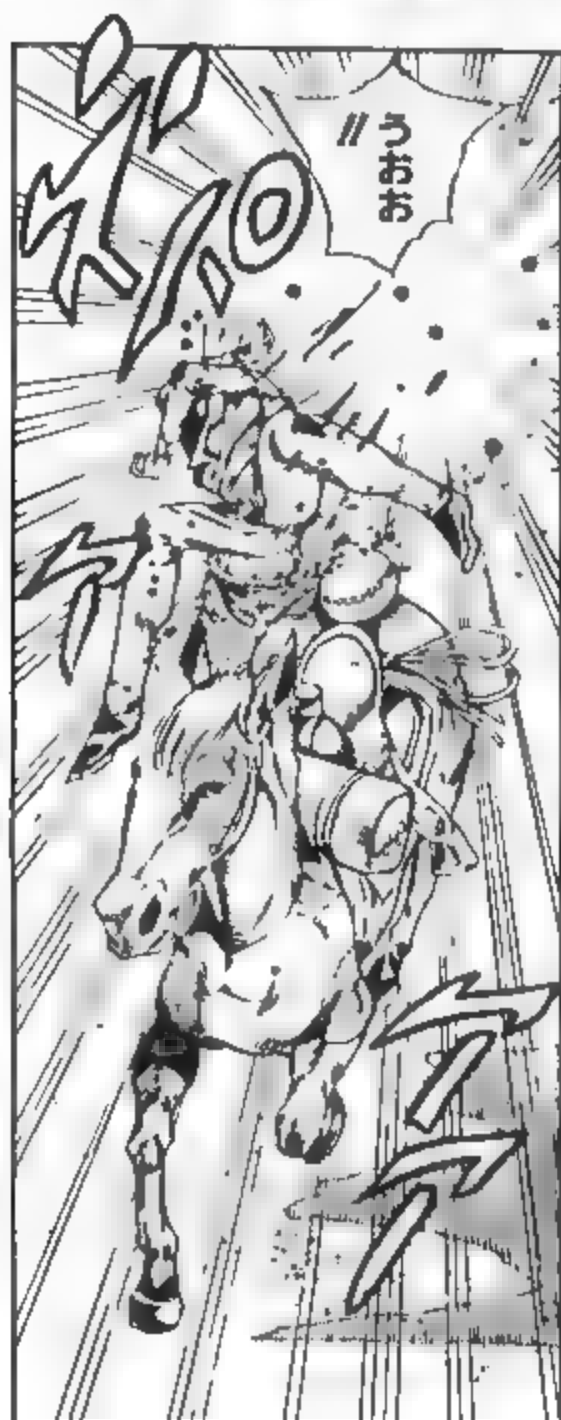
ガリッ
ガリッ
ガリッ
ガリッ
ガリッ

!?
けずり粉を散らばらせた
岩の中には「鉄分」がある
ただしかなり痛いぜ……
3人ともだ
3人とも肉体が「磁石」なんだからな

体をガードしろジョニィ

？……

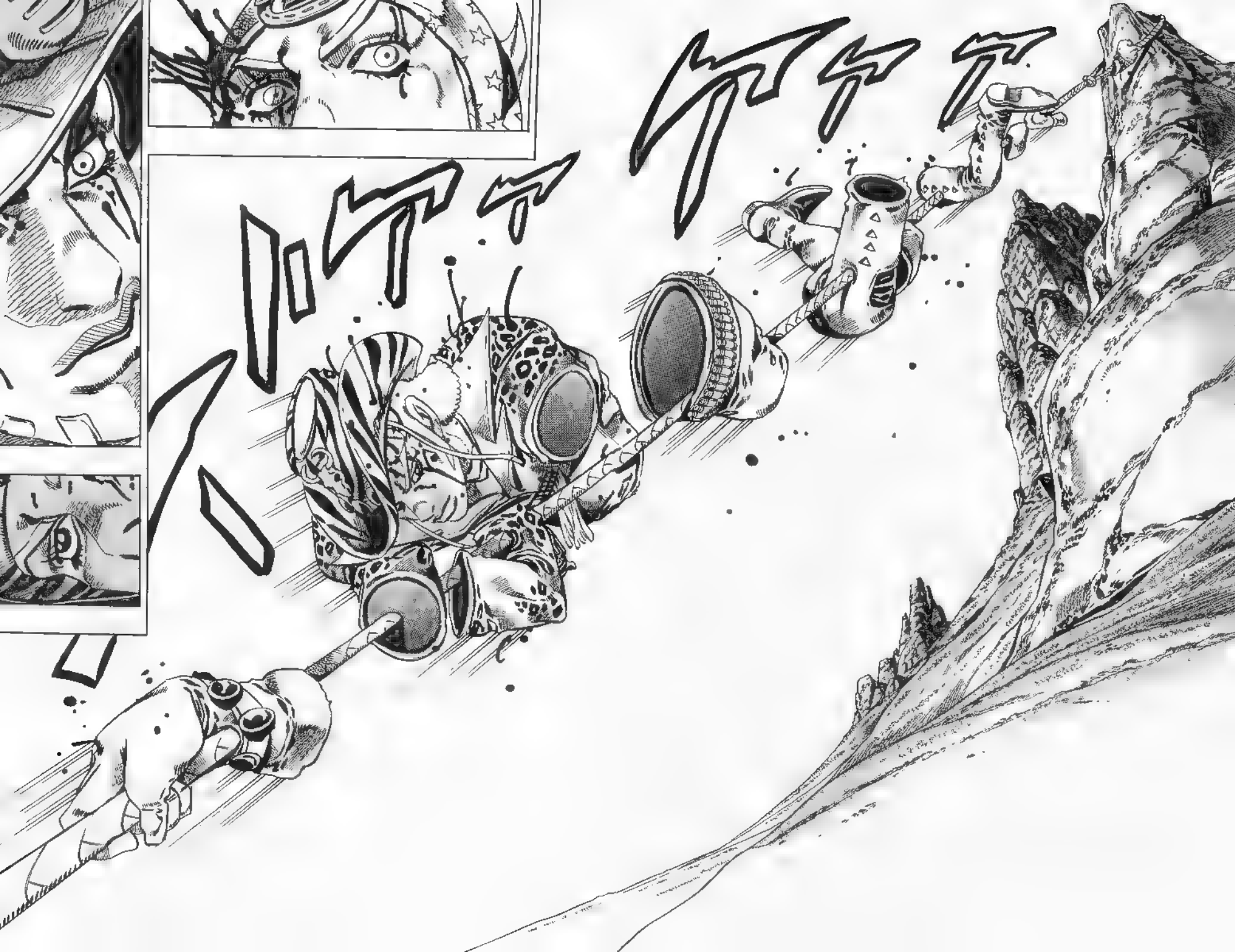
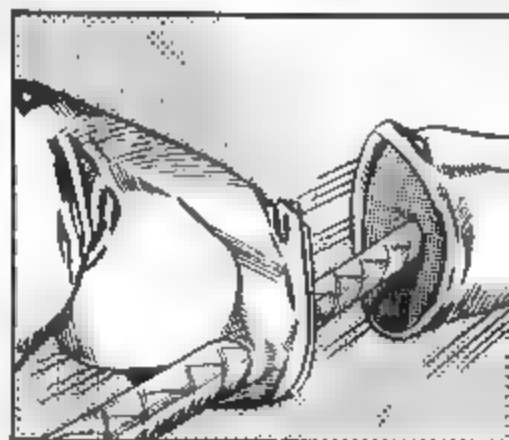
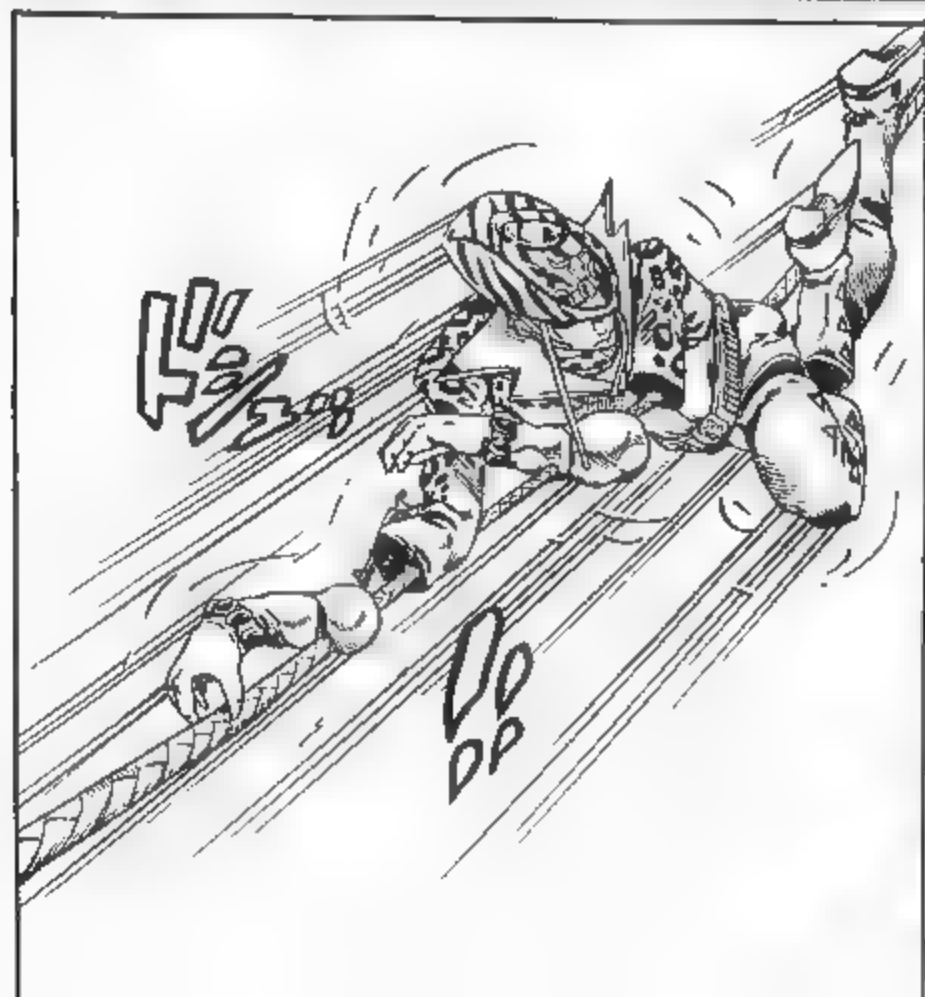
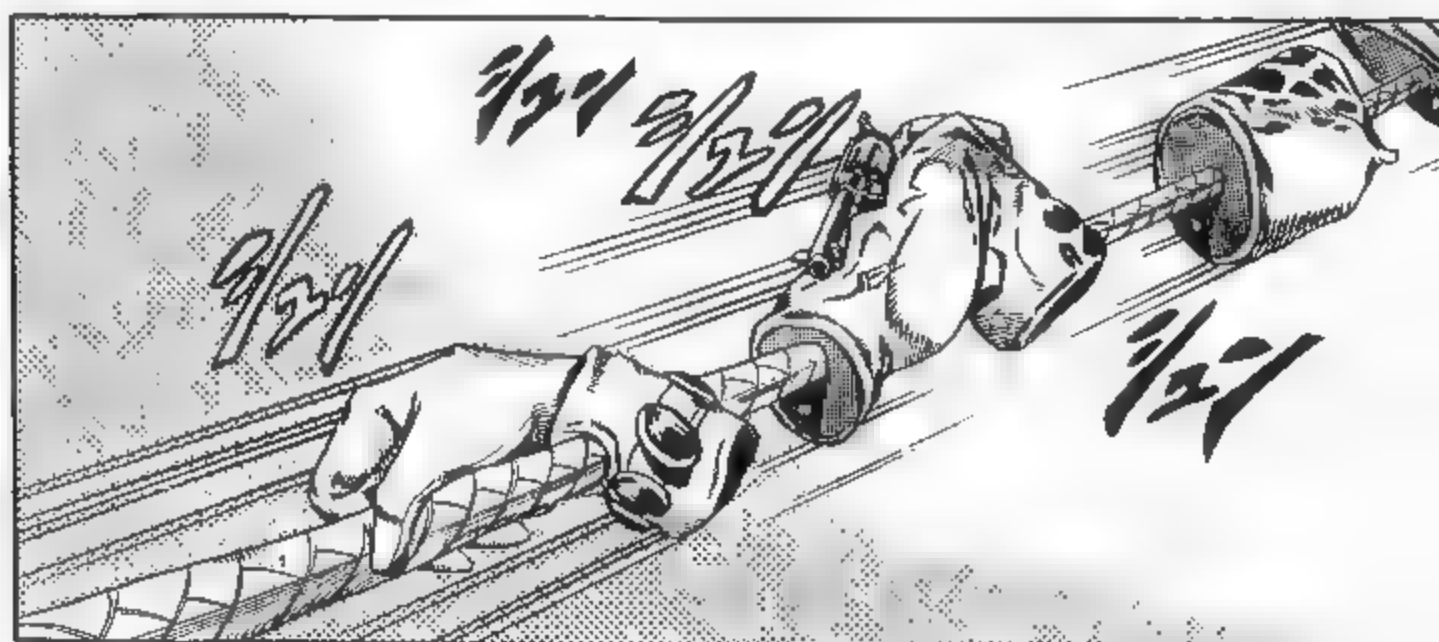
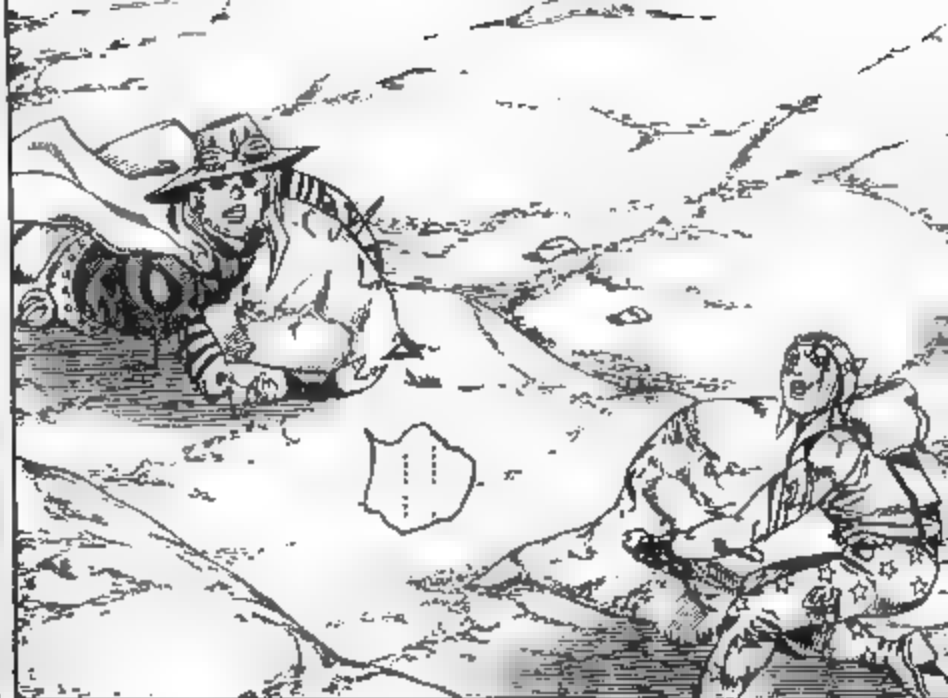
こ

これは?!

やっただろうッ！
ジョニィッ！
マウンテン・ティムを
馬から
ひきずりおろしたぜッ
〜〜〜〜ッ
な…
なんだ⁉
この
「ひっぱり込む
ような この力」は‼
おれの
腕に……
おれの
「拳銃」が地面に落ちず
吸いついて来ている‼
だ……
だめだッ‼
ジャイロ…
近づきすぎてた‼
すでに‼
…ぼくらは もう
寄りすぎていた…

マウンテン・ティムの体が
空中を引きずられて
くるぞッ!!
すでに
近すぎるッ!
「磁石」の力が
近づきすぎていたッ!

飛ばされて突っ込んでくるぞ―――ッ

血管が破裂するウッッ！

なんだ
こりゃあ……
……
シュン
シュッ
シュン
ドシュッ

ロープを投げた……
「ロープの距離だけは肉体をバラバラにして移動できる」

この今の状況……
3人とも近づくと……
ヤバイ事が起こるようだな

# #19 悪魔の手のひら　その②

いったい なんなんだ!? おまえの方も!!

「ブンブーン一家」もだが 人間なのかよ!? どういう事なんだ!?

あんたの方はどうなんだ!?

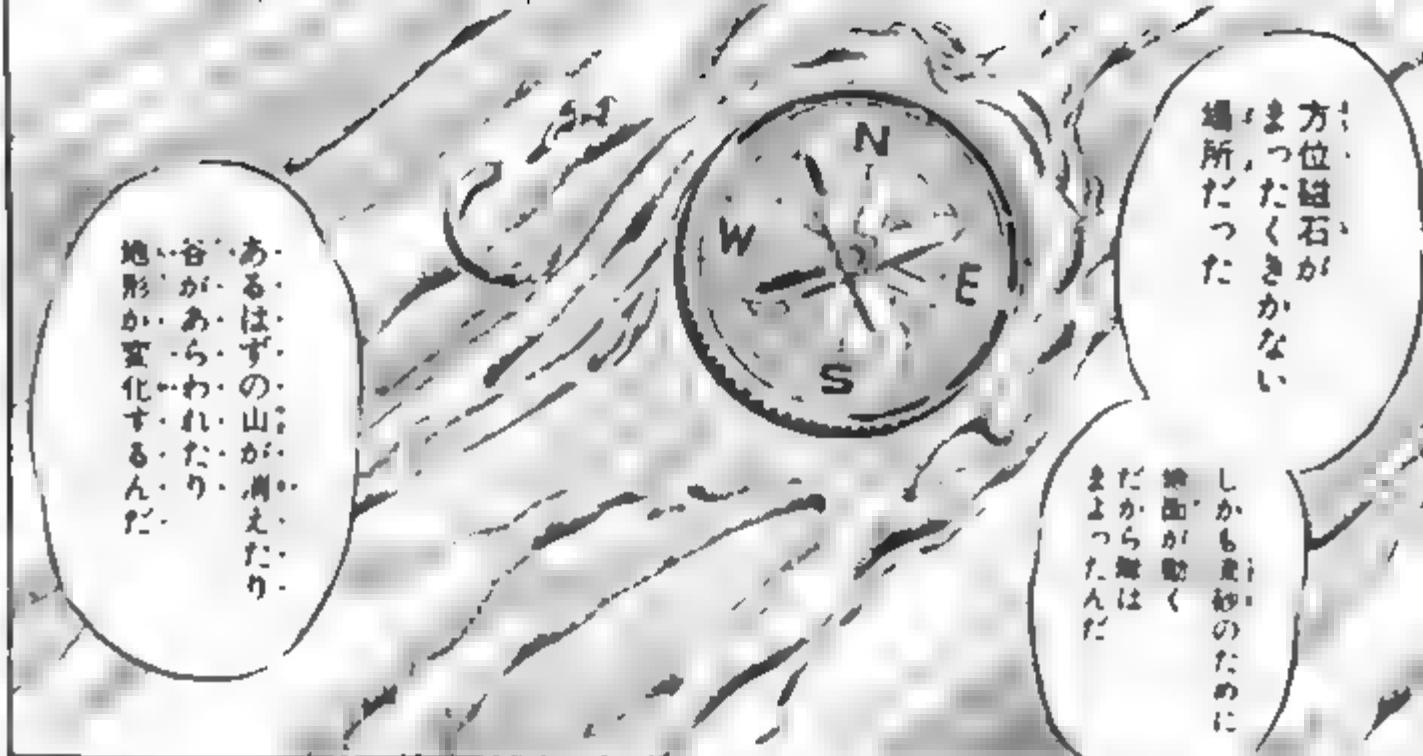
その「鉄球」はなんだ?

オレのは『技術』だ

人間には未知の部分がある

なるほど 人間には未知の部分がある

簡単に話そう

15年前のことだ 1875年……
オレは当時 16歳……
軍に入隊していて このアリゾナの砂漠で まだ地図に載っていない 場所の探査のための 任務についた
だが オレのいた小隊 18名は遭難し 水場を求めて何日も この砂漠を さまよったんだ

方位磁石がまったくきかない場所だった

しかも流砂のために地面が動く だから皆はまよったんだ

あるはずの山が消えたり谷があらわれたり地形が変化するんだ

「悪魔の手のひら」は1日に何kmも「移動」するらしい

先月あった場所に今月はもうなく…

インディアンの伝承によると大昔流れ星が落下し全てを破壊し呪われているのだという

どんな広さなのか誰も知らず

どこにあるのかも出会わないとわからない……何万年もここのどこかを移動しているんだ

ついに水場は見つからなかった
馬が死に……
小隊の仲間も次々と倒れていった……
そしてオレもな……
文字どおり焼け死んで行ったんだ
だが そこは運命を選ぶ土地でもあった
なぜかオレは目を醒ました
夜中だった
夜……
ごくわずかな夜露が……
ロープにつく
それをおれの体は吸いとっていた……
無意識のうちに……
ロープとオレの体が一体化してな……
生き残ったのはオレだけだった……

なにかの「引力」のせいなのか…

「悪魔の手のひら」はその人間の眠ってる未知の才能をひき出すんだ

……

インディアンは「呪われた能力」と呼ぶ……

そうなのかもしれない オレは隊の他のみんなとともに死ぬべき人間だったんだからな……

この能力を「立ち向かうもの」とオレは個人的に呼んでいる……

まちがいない! ブンブーン一家も「悪魔の手のひら」にふみ入ったやつらなんだ

「立ち向かうもの」

ドドド

「磁力」がだいぶ弱くなったぞ……

いいぞ…そのまま

そのロープでどんどん離れろ!

どこかにいるヤツらを探し出して倒すしか旅を続ける方法はなさそうか？
いや……その必要はないと思うよ
……

はっ!

……探すこともないし離れる必要もないよ

君たちが行けるのは

近づく方へだけだ……

ね? 父さん…? 父さんがそう言った

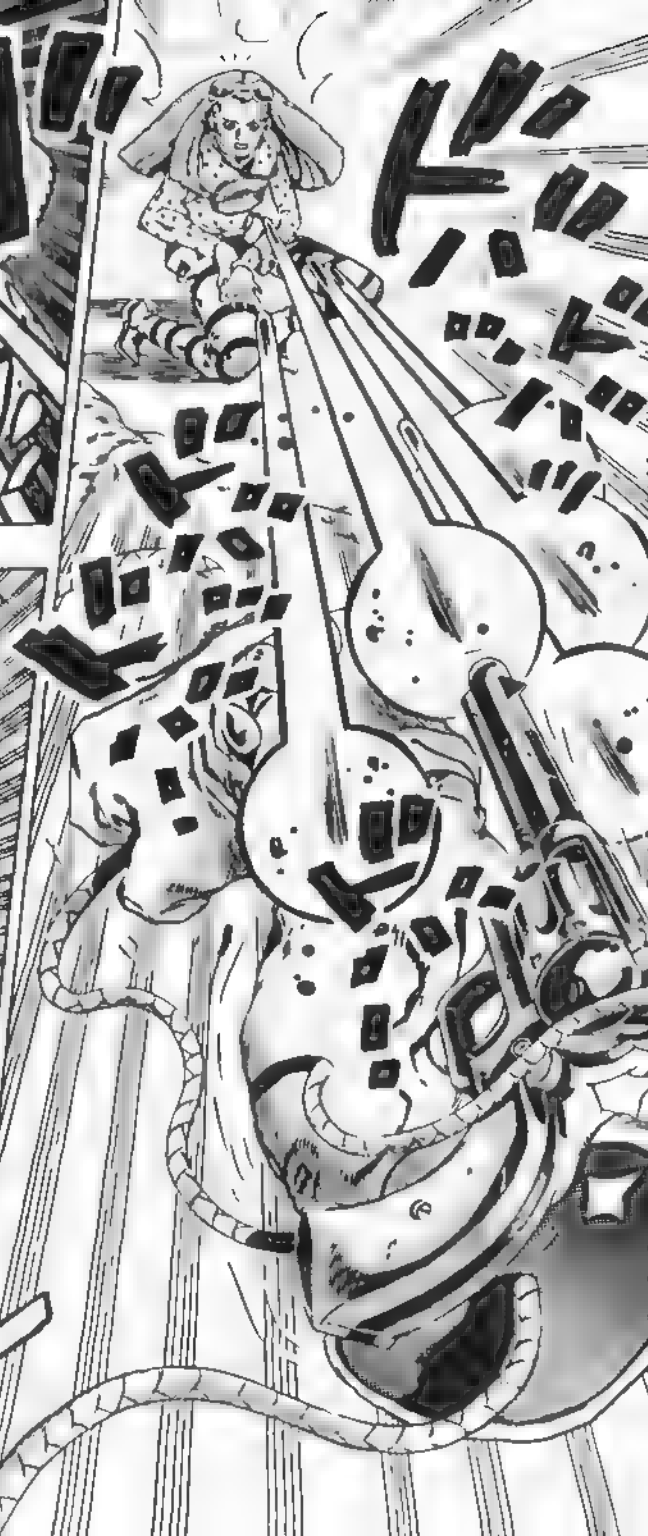
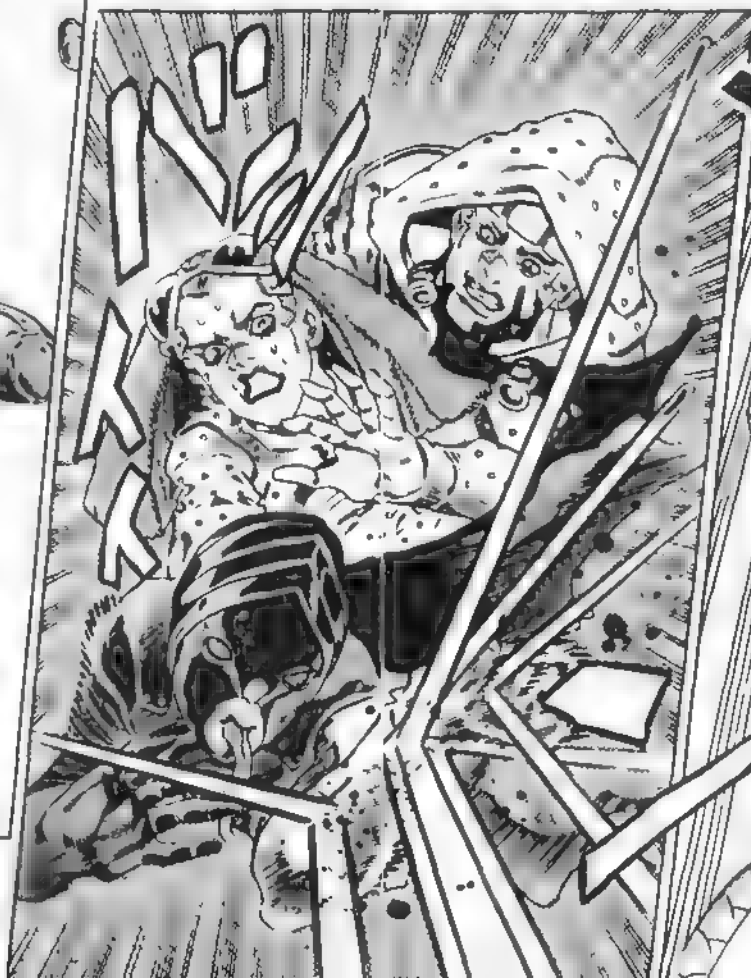
こいつら!!

手伝うか？ LA、
ひとりでロープを切れるか？
マウンテン・ティムの野郎のロープをよォ～
え～～!?
出来るような……自信ないような

砂鉄……!!

うおっ
ううっ

マウンテン・ティムの方へもつっ走って行くぞオオ――ッ

え？
……
やっぱりひとりじゃあ危なっかしいなあLA！
ヤツらの両手も砂鉄でふさぐんだよ！ヤツらに何もさせるな
幸せか？
幸せだよなあワシたちはよオ
さっさとマウンテン・ティムのロープを切れ
ああ〜〜〜父さん……ぼく とっても幸せだよオオ

ロ…………
ロープを
切られたッ！
来るッ！
もうだめだッ!!

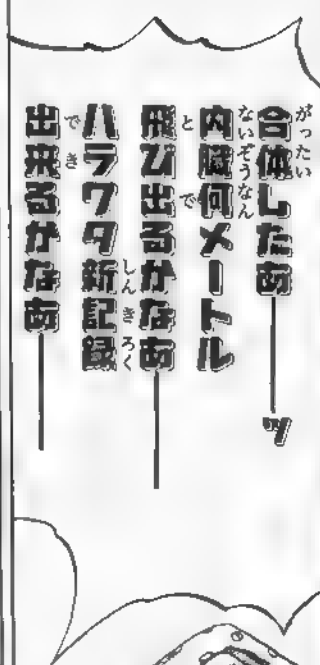
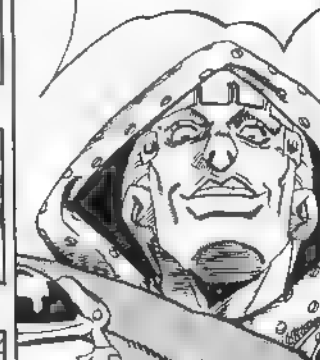
ザザザザ

ザザザザ

オメエらは もう
この磁界の中じゃあ
なにやってても
無駄なんだよォオオ
オオオ

ジョニィ！
おまえの手が
空いているッ！
やれッ！
おまえが・・・
やるんだッ！
えっ？
『回転』だッ
ジョニィ！
おまえが
『回転』を使って
やつらを殺るんだ！
そこに「1発」
落ちているッ
拾えッ！
!?
なんだってッ!?
なんの事だッ！
弾丸だッ！
マウンテン・
ティムが今
撃ってよこした
ヤツだ!!
「鉛」なら
この磁界の中でも
影響なく飛ばせるッ！
おまえが
その弾丸を
回転させろッ！

だめだ！
来るッ！
マウンテン・ティムの体が
浮いたッ！

うぐ
ああっ
うおおおお
裂けるっ
合体したあ――ッ
内臓何メートル
飛び出るかなあ――
ハラワタ新記録
出来るかなあ――
ジョニィ！
やるしかねえッ!!
「LESSON3」
だッ！
おまえ
キャンプの時
回転させたって
言ってたろうッ！
弾丸も
同じ事だッ！
飛ばせッ！
あ…
あのコルクはッ……
たっ
たまたま
だったッ!!
回転を信じろッ！
回転は無限の力だ
それを信じろッ

ジョニィやれェエエ――
やるしかねえ――
ぼ…ぼくに
で…出来るのか!?
……回ったのは
一度だけだ

でも…
ぼくは
このために……
このレースに来た…
この「回転」の
秘密を
知るために
「回転」を
自分のものと
するために…
やるんだッ！
やらなきゃあ
ここで終わる！
体が
破裂するぞ
ジョニィイイイ
イイイ

ま…回…た！回った！回ったぞッ！ジャイロッ！

もっとうしろ
下がってろ
L.A.!
最後まで
気ィ抜いてんなよ
死にぎわの
悪あがきには
気ぃつけろだ
だめだ
ジャイロ!
出来なかったッ!
僕には
出来なかった!
い…
いや
と……
な…
なんだ!?
そりゃあ…
違うよ父さん…
「気いつけろ」
じゃあない
父さん…
戻って父さんッ!
なんだ
あいつの手はッ!
早く
そこから
戻って!!

ジョ……
ジョニィ・
ジョースター
ジョニィ!
なんだ それは!
……
シル シル シル

ぼ……ぼくの手……
爪が……
な…なんだこれ……!?ジャイロ!?
爪の方が回転してる!!

これは…まさか……
スタ……ンド!!

どういう事だ……これは!?なんの影響だ…
鉄球の回転にそんなのはねえッ!

わぁあああ
ああ――っ

#20
ジャイロ・
ツェペリの
宿命（しゅくめい） その①

これはッ!!?
ドドド
いったいジャイロ!!
どうなってんだ!!?
これは なんなんだ!!?
ぼくの指の爪がッ!
もう止まってるが…
ぼくの手がッ……!!?
ドドド
どういう事なのか
見当もつかないぜ……
そんなの
鉄球の回転
技術じゃあねえ!!
まさか……
ジョニィ…
ジョースター…
…それは…
ドドド
よくも きさまッ!
父さんのことをををををを
をををを——ッ

ビシッ
ドスドスドス
ドズ
血管ブちぎれてくたばりやがれェエエエエエ――

バ…バカなッ！ぼ…ぼくが！ぼくの体がッ！
歩けない…足が…!!
ぎゃアアアアアアアアア—ッ
と……飛び上がった……!! そんなまさか

やったッ! まとわりついてた砂鉄が落ちたぜ
ヤツらの鉄の能力ッ! 磁界が消えたッ
ジャイロ もう一度聞く
なにが起こってるんだッ……!? ぼくの指はッ!?
オレの知らない「回転の力」だ! オレの方がどうなってるか聞きてえッ!
誓っていう! オレにもさっぱりだぜ
ジョニィ・ジョースター……それが技術以上のものだとあんたがいうなら
間違いない……
「悪魔の手のひら」のな……
「スタンド」だ! あんたは影響を受けたんだよ
おそらくこの砂漠はそのエリア内だ オレたちは知らず知らずにそこにいた!

走って行った馬を呼び戻せッ!
ここが「悪魔の手のひら」なら早いとこ走ってここを出なくてはいけない!
ス…「スタンド」…
こ……このぼくが!?
なぜ悪魔の手のひらがここにあるのか!? ……偶然かもしれないし
「土地」の方がオレたちをひっぱったのかもしれん
おそらく後者だろう……
早く馬に乗れッ!
地面が動いて地形が変わるぞッ!
すぐに脱出しないと迷いはじめるッ! 水場なんてどこかわからなくなるんだ!!

待ちやがれエエ
きさまらぁ
あああああ
あああ
復讐してやるぅぅ
ううう〜〜〜〜ッ
おまえら絶対に
許さねえええ
…思ってんのかァア
オオオ
あんたの
「国」のやつに
聞いてみなッ!

イイイイ
フフフハハハ
ヘーーッ

おまえが
死んだら
「10万ドル」やるって
あるヤツに
いわれたからだッ!

おまえの首には
懸賞金が
ついてんだから
なッ!!

戻って来いよォオオオ
こっち来いッ！
てめえらアアア
ブッ殺してやるぅぅぅうう～～～～

ドドド
ドドド
ドド
ドドドド
ドド
ドドド

ドドドドド
ドドドド
ドドドド

しかも思い返すとあのミセス・ロビンスンッ！
彼もきっと実のところあんたの賞金を狙って追って来たヤツだったんだッ！

あんたなんのためにこのレースに参加してる!?
ツェペリ法務官てなんなんだッ!?
あんたの持ってる新聞記事と関係あるんだろう……!?
話してもらうぞッ！

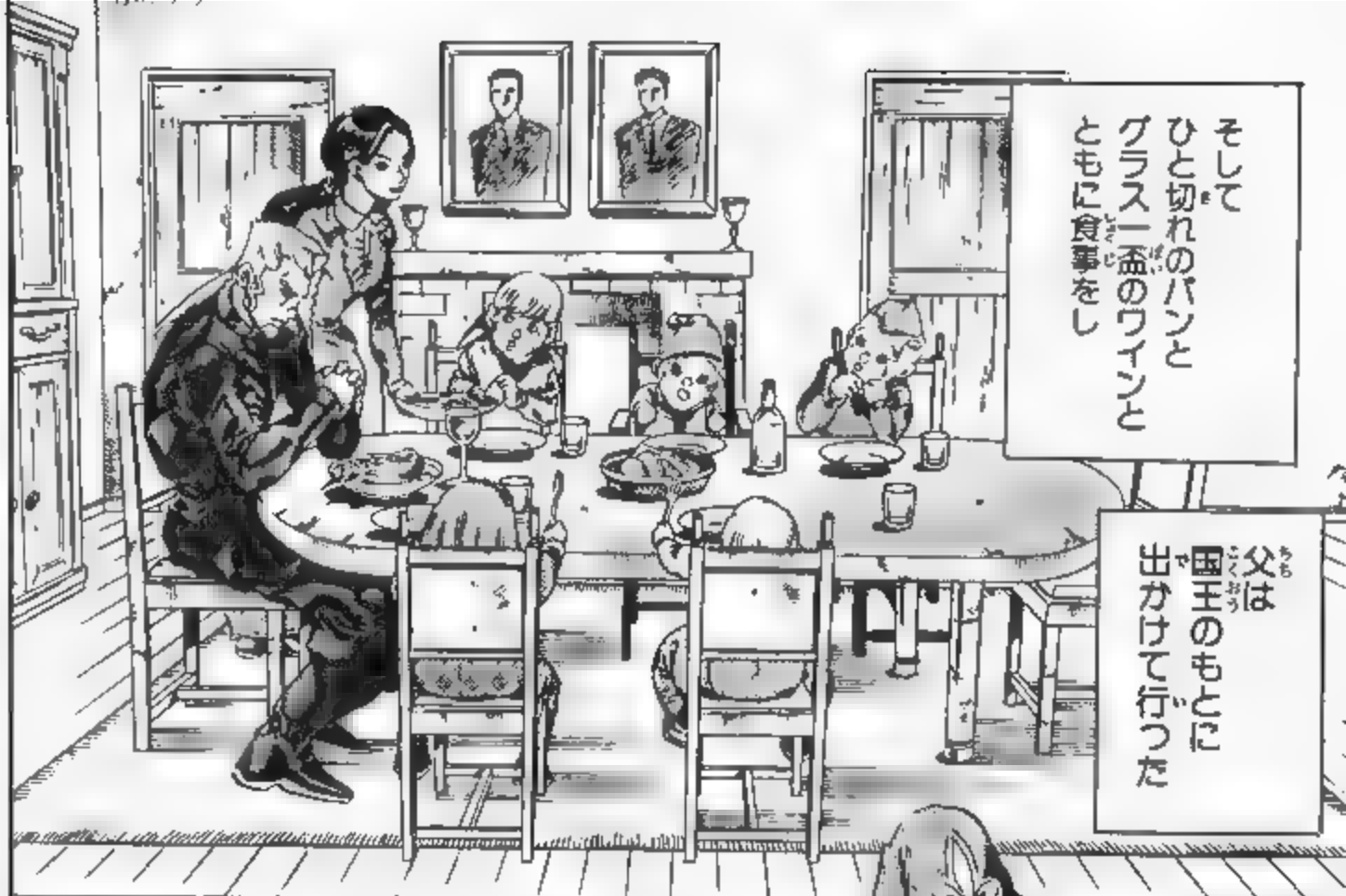
ドドドド

「男には
地図が必要だ

荒野を渡り切る
心の中の「地図」かな」
これが父親の
口ぐせだった

ザ
ザザザザ

ジャイロ・ツェペリの
父親が
月に1度か2度
『国王の使い』に
呼び出される朝

きまって
母親は無駄な口を
きかず
ほんの少しばかりの
魚料理をこしらえた

そして
ひと切れのパンと
グラス一盃のワインと
ともに食事をし
父は
国王のもとに
出かけて行った
自宅の診療所では
貧しい者も
金持ちも
分けへだてなく
診察していた
父親の仕事は
医者だった
その時 必ず
「王の使い」の者は
ジャイロに向かって
ジャイロ…
今 いくつになった?
9歳です
……とだけ
聞いた

ジャイロ ここに来なさい
もっと近くへ…


おまえ この握った手の中の「鉄球」をどう取り上げる？


……………


……………

ドサッ
ドサ
ドサ

うおおっ!

そうじゃあないだろ!ジャイロ

イカサマじゃあないッ!汚い手を使ってどうするッ!

回転の話をしているのだッ!

回転で握った拳の中からどう取り出すって話だ

ガッ

いいかジャイロ…おまえ馬に乗って遊んでばかりいるが

鉄球の回転は必ず覚えなくてはならない

13歳になるまでに全て出来るようにならなくてはならん わたしもわたしの父から教わったし

おじいさんもそのまたお父さんから教わった

………

そんなの無理です…父上

なぜですか？鉄球と……
ぼくのおじいさんやぼくのひいおじいさんとどういう関係があるのですか？

ツェペリ家の男はみんなそうして来たからだ…
お前なら必ず出来る………
もう行っていいぞ

手の中からとりあげるより中へ入れる方が簡単だ

………

ゲっ
…うそっいつの間に

ジャイロ今いくつになった？

13歳です

ジャイロ・ツェペリが13歳になった時……

ジャイロは父に

『今日は わたしといっしょに付いて来るように』…といわれ

ジャイロと父親の乗る
入っていった

そして
父はジャイロに
やさしく
こういった

人の幸福とは
家族の中にこそ
あるのだ

家族を守ることが
国を守ることにつながり
なるという事は
することにつながるのだ

それを
忘れるな

?
助手に
ついてもら
代が替わっても続いて来た

法務官！
中庭へ参られい！
お願いします
いやだぁぁあぁオオ
呪われろオオ
手がつけられません
あばれもがいて
おります！
うおおおオオオオ
…………
？
？
うおオオ
ち……
父上…
神父はどうした？
神父は心を
決めさせられ
なかったのか？
手に負えません
彼にとって
心の平和はない…
ジャイロ！
おまえは
ここで待て！
あとで指示する

パチン…

やめろオオオオオ
いやだああああ
ああ
呪われろオオオオオ
死にたくねええ
……
オレは死にたくねえ
動くな
心を静かに保て!
心を……
スパァァァァァー

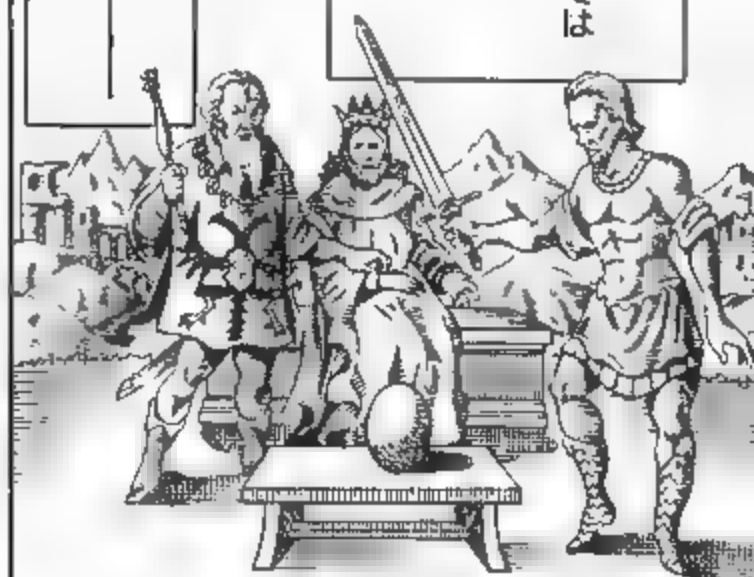
ううっ!!
おまえが剣を洗い清めるのだ
おまえの仕事は…
ここから始まる

これがツェペリ一族
380年の任務

法治国家に「死刑制度」の
ある限り 必ずそれを
執行する者が存在する

20世紀以前のヨーロッパでは
死刑執行の職は厳格に
国家の任命を受け
要職とされ

そして
世襲制を
とっていた

つまり――

死刑の執行を命じられた者は
その高い地位と収入を保証
されるが親から子へ……
子から孫へ……!!
その責任と技術を
受け継いで行く
職業とされたのである

人間はたった一点の傷で死に至る……
だが多くの場合生命力はとても強靱なものであり
人を確実に死に至らしめる行為にはそれなりの技術が必要である
罪人とはいえ苦しみがなく人としての尊厳を与え一瞬のまばたきの間に
人間を処刑するのは達人の域に到ってはいなくては　ならない
人間の急所はどこなのか？
骨などに邪魔されず　どこを切ればよいのか？
死刑執行人は人間の肉体を知りつくしていなくてはならない
決して2度目の打撃は許されない　ミスることのない一点への処刑のために
彼らは医術を学び戦闘術を体得した
Humeri
Brachia
Oculi
Aures
Caput
Faces
Pulmones
Diaphragma
Venter. Inter
Stomachus
Venter.
Tibia Pes

肉体を平静の
状態にあるように

ツェペリ一族は

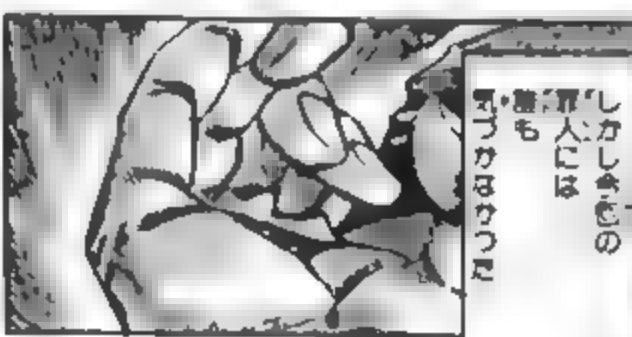
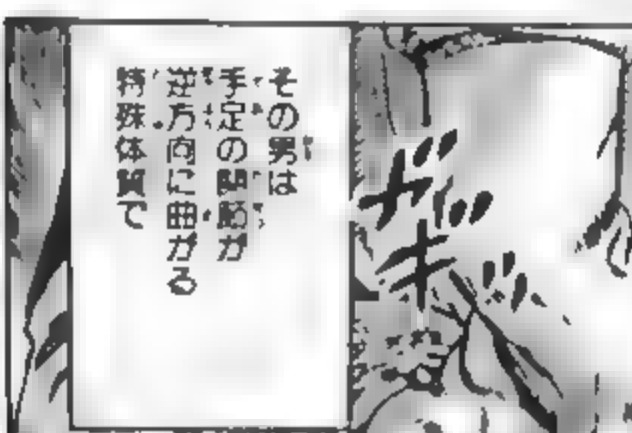
鉄球の回転を
生み出した

PHILOSOPH

ALCHIMI.

鉄球の回転は苦痛ではなく
「穏やかさ」のためにあるのである
そして一族は代々に渡って
発展させて来たのだ

『死刑の執行』
これがツェペリ一族の
宿命だった……

ジャイロ・ツェペリが
25歳になった時
彼は父の地位を受け継がねば
ならなかったのである
「跡継ぎ」として!
そう!……
何も問題は
なかった……
あのままで
あったなら……
貴族の館で
クツをみがくだけの職についた
少年——マルコに
死刑の判決が確定
するまでは……

#21
ジャイロ・ツェペリの宿命（しゅくめい）
その②

かつて首の骨が1個たりない罪人がおり
(通常は7個でつまり急所の位置が常人とは違っている)
不運にも医学に通じるジャイロの父が見分け 一撃で苦痛なく処刑されたわけだが
しかし今回の罪人には誰も気づかなかった
その男は手足の関節が逆方向に曲がる特殊体質で
まんまと拘束帯をぬけ出して牢の番人を人質にとった……
あっ!!

うわあ
あぁ
あああ
さまあ
見ろオオッ!
てめーら
近づくなああ
ーーーッ
どっち道 処刑されるんなら
何人でも道づれにしてやるぜエ
ーーーッ!!
掛かって来いイイイ!!
ここの家奴の最期だあああああ
てめーら!
その窓の外から
入って来たら
ブッ殺すッ!
迷わず こいつを
ブッ殺すからなあああ
あああああ
キャハハハハハハハハ

てめ――
正気かあああ――――ッ

ギャルギャル
ギャルギャル
ギャルギャル
ぐっ

ギニャアア

バキ

ふ……服が!!

わあ
ああ
あああ
ああ

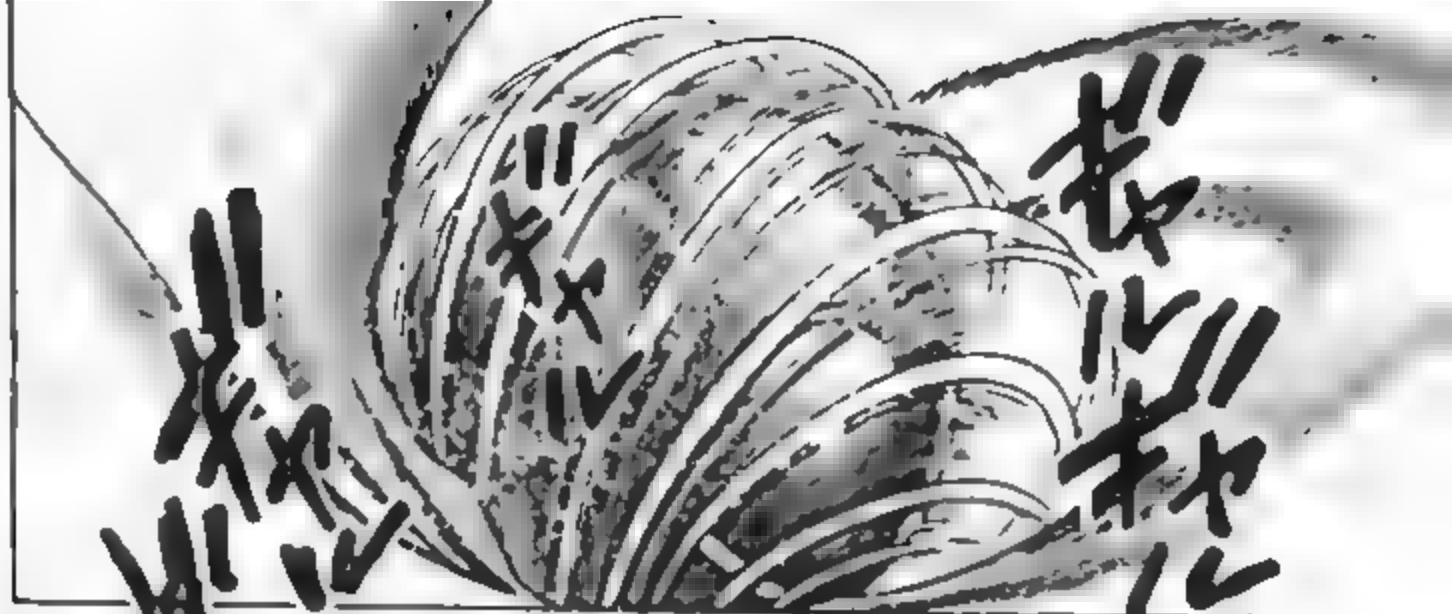
よくやった
ジャイロ
さすが
ツェペリの息子

バキ

バキ

クェェッ
ねじれて
締まるうう
うう

ジャイロ・ツェペリが
ツェペリ家の
長男として
すでに
いっぱしの男として
成長した時

ジャイロの父は
息子が「少年マルコ事件」の
有罪死刑判決について
法廷へ異議を唱えた
事に対し

本当に深い失望と怒りの態度をあらわにした

父は老齢にさしかかりこの責任ある任務から

すでに引退を決意していた…

今も昔も父親は声を荒げたり 息子を罵倒するようなことは決してした事がないが

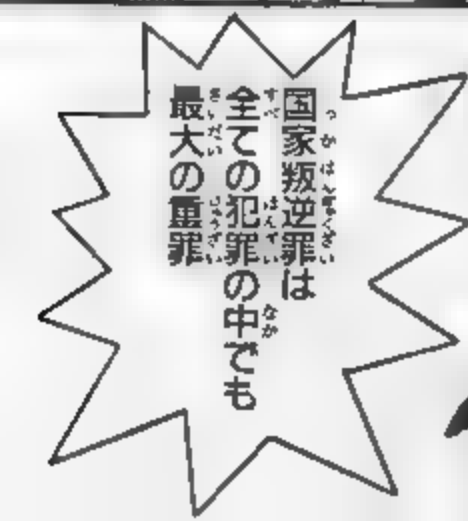
しかしその静かな怒りの中にある断固とした口調にはさすがにジャイロもふるえ上がった

我が一族の任務は国王からの命令を正確に執行する！

ただそれだけだ

「法」は法！

法の審議には関わるな！

「納得」などというものはすでに超越している全ては神の御意志!!

!!少年は処刑されます

次の誕生日でわたしは25 あなたの跡を引き継ぐ…処刑はわたしの任務なのですか？

国家叛逆罪は全ての犯罪の中でも最大の重罪

それが　この時代……
この国家の「法」であった……

「少年」……

オレは一族を誇りにしてるし父の「跡を継ぐ」！

この仕事はオレの「誇り」だ

それは何も変わらない… 昔からも これからも

だが オレは納得したいだけだッ！

父は口にするなと言ったが

オレは国王から命ぜられる この任務を我が心の「誇り」としたい！

有罪か無罪か！「納得」は必要だッ！『納得』は『誇り』なんだ！

「誇り」のためなら命を賭けれるぜッ！

あんた何か方法はないのか!?

まちがった法律だってあるッ！

そのために無関係の少年が有罪になって処刑されるなんて納得出来ないッ！

おれは絶対『納得』したいんだッ！

なに？

もう一度確認したい

もし少年が無罪になるならおまえ命を賭けれるのか？

ああ…
彼を助けたい……
彼はクツをみがいていただけだ……ツェペリ家の男がこんな事を思うのはバカげた事か？
ひとつだけ判決を覆す方法がある……
ゴゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
たとえば戦争が起こりそれに国が勝利した場合
国王は国民誰もが認める祝い事として「恩赦」を出さなくてはならない！
「恩赦」とは罪人の刑を軽くする特例！

ドドドドドドド
国王の「恩赦」だと!?
ああ 国王は恩赦を出す!!
違うぜ なに言ってんだ!?
戦争なんてどこで起こってるっていうんだ!?
STEEL BALL RUN
スティール ボール ラン レース
$50,000,000
ドドドドドド

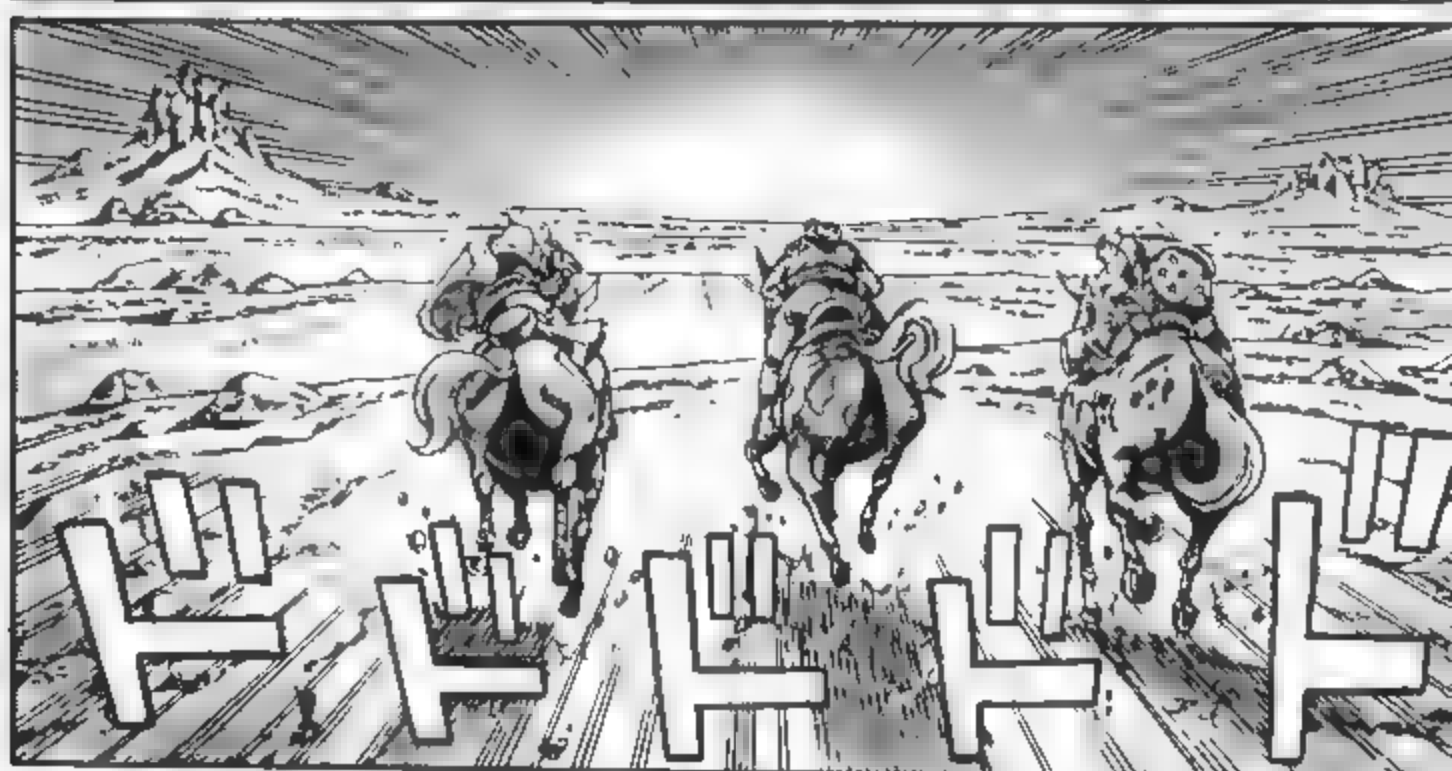
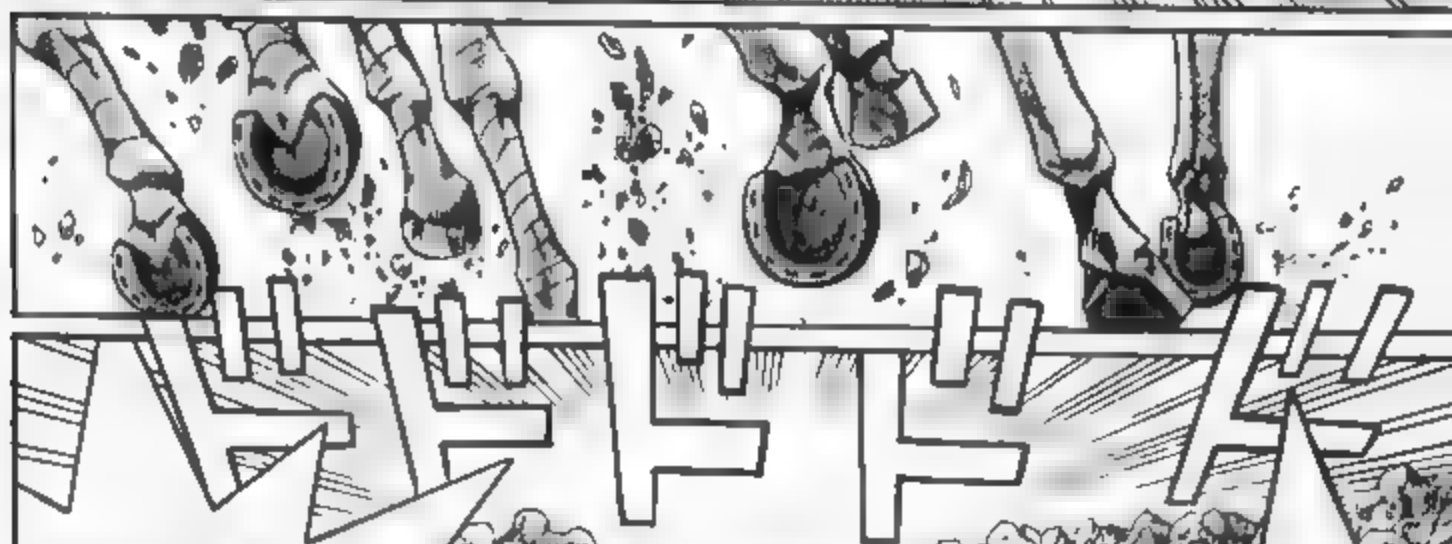
サンディエゴ→ニューヨーク
スティール・ボール・ラン・レース!
STEEL BALL RUN
1890年9月25日スタート!

おまえには「鉄球」の技がある! ジャイロ・ツェペリ

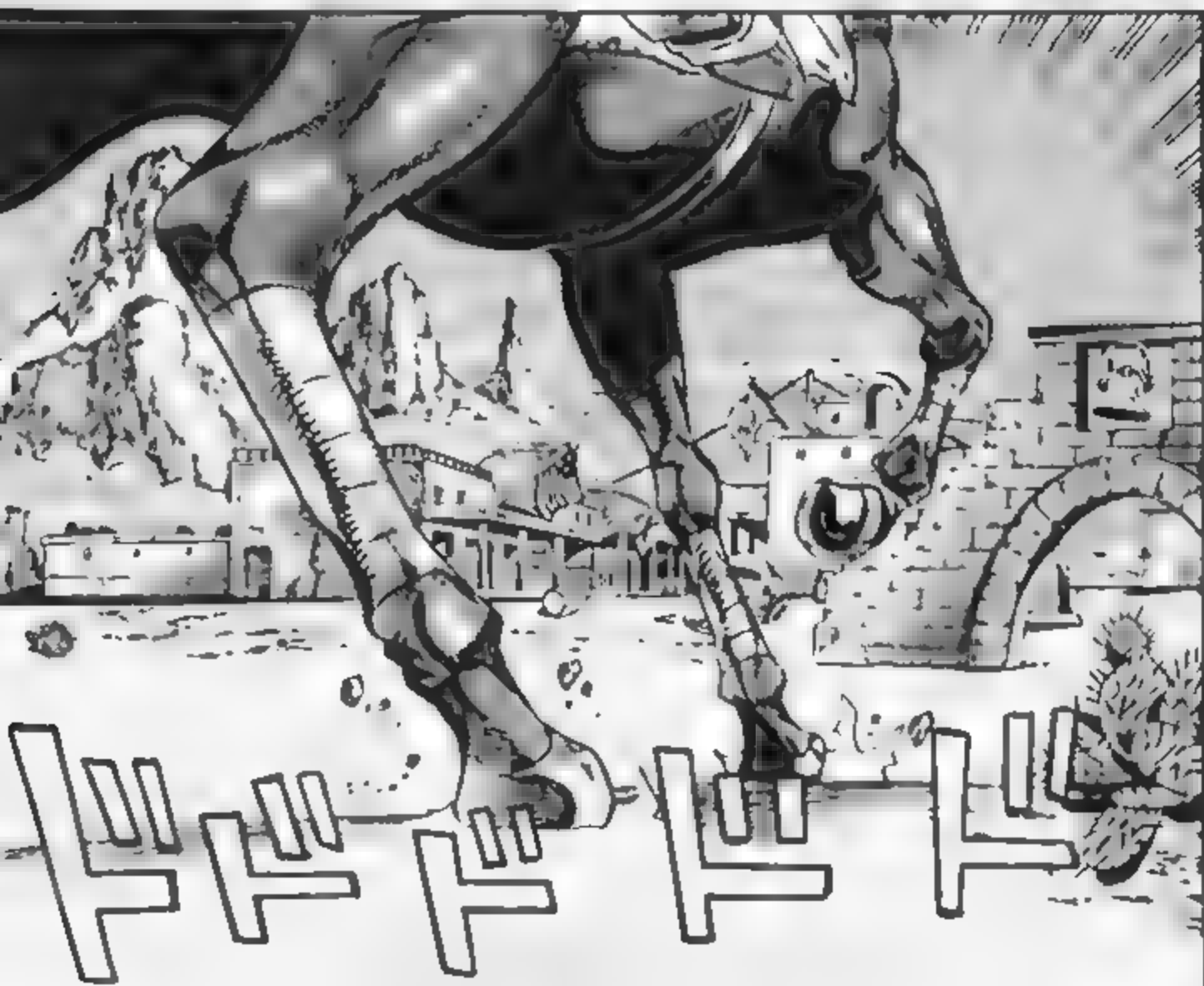
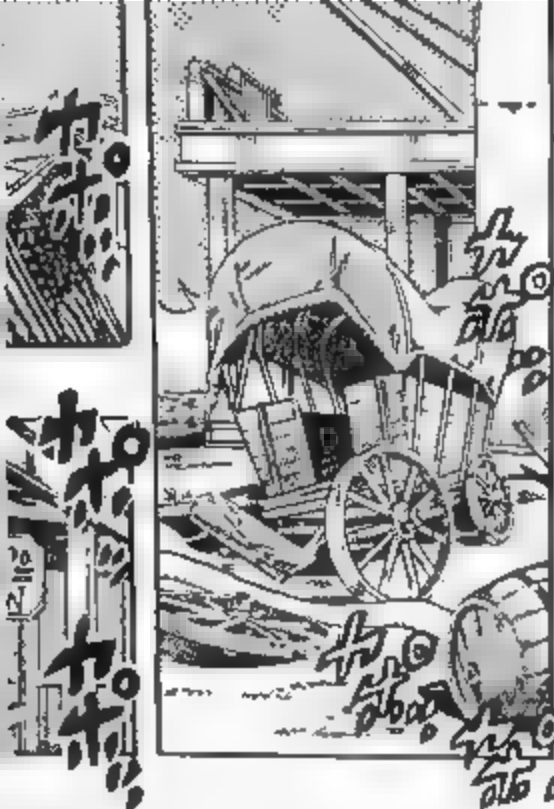
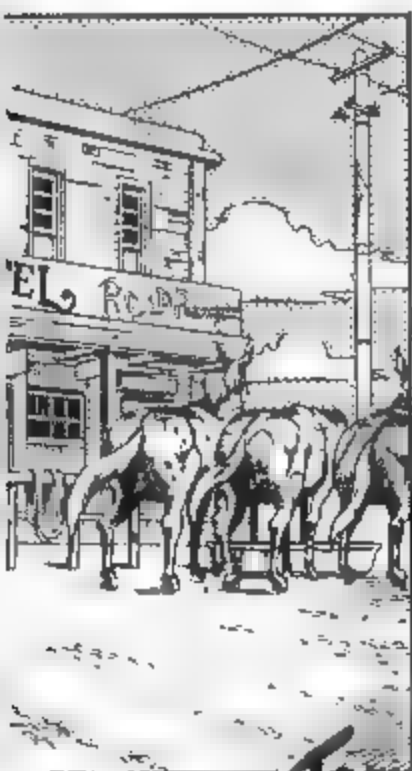
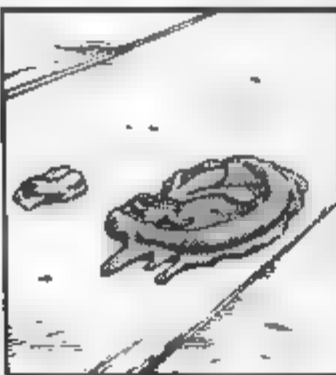
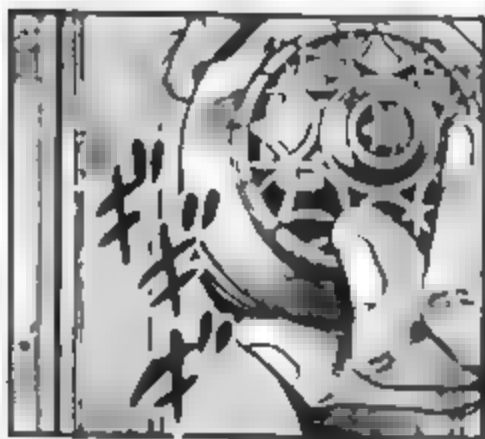
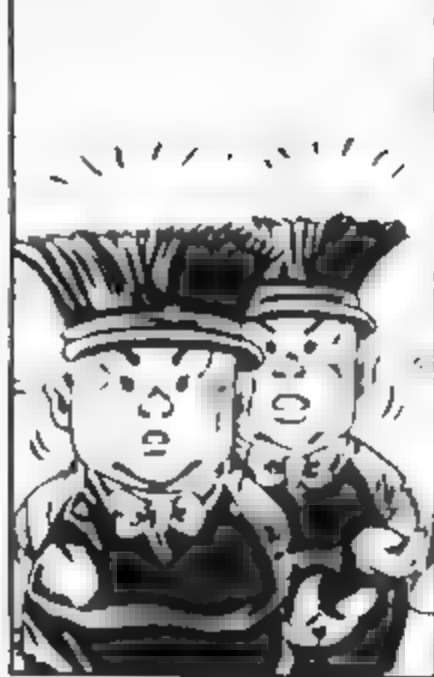
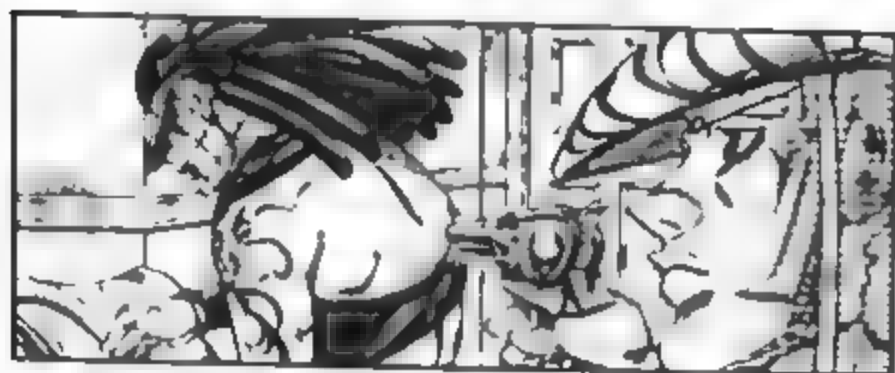
おまえならやれる! だから言うッ!

このレースでの勝利は 世界中の国々が 国家の威信の勝利に 匹敵すると注目しているッ!

もし この国から 勝利者が出るなら

国民は我が国王のために心をひとつに集めるだろう

ドドドドドド
ドドドドドド
ドドドドド
だが　この時SBR 2nd STAGEに出るまでジャイロも誰も気づいていなかった
ジャイロ・ツェペリがレースで先へ進めば進むほど……
国王への「叛逆者」たちがその事をほうっておかないという事を………
レースが国家の戦争に匹敵するというのなら………

ドドドド

ドドドドド

ドドドドド
セカンドステージ6日目
2nd STAGE6日目
先頭集団の
ご到着は明日あたりか
との我々の予想でしたが
…………
ペコリー
OFFICE
お疲れ様です
すごくお早い
お着きで…
ここは
スティール・ボール・ラン・レースの
中継地点として
使用する
特別に作った街で
ございます
モニュメントバレー
GOAL
グランドキャニオン
中継地点
カリフォルニア
START

OFFICE

チラッ
1位は……
オレじゃあないのか？

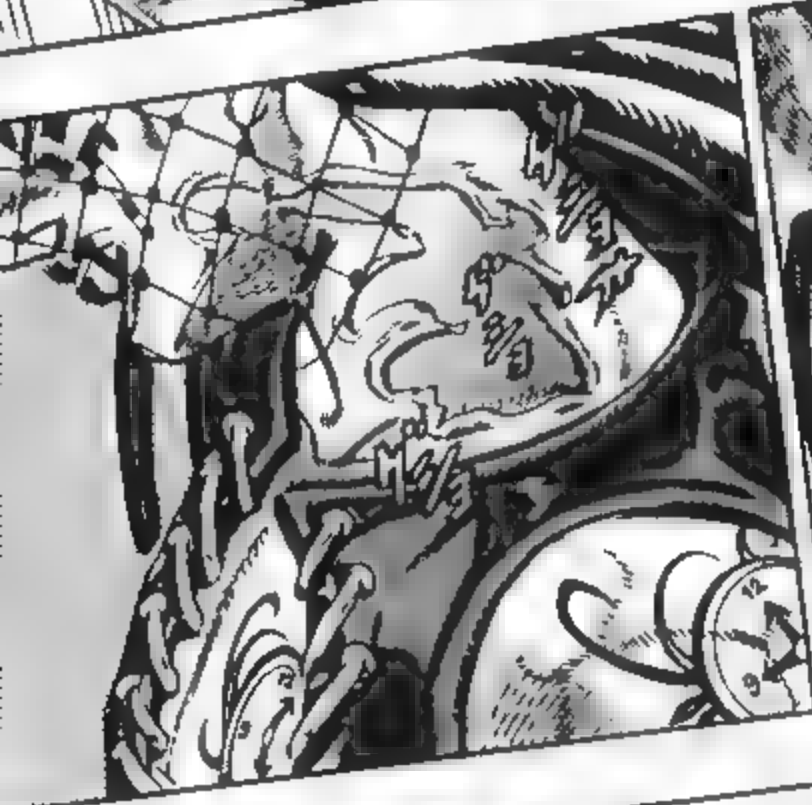
あなた様は現在4位でございます
オエコモバ様
1位到着はMr.マウンテン・ティム
でもMr.ジャイロ・ツェペリが「オレの方が首一コ速かった」と主張なさりましてMr.ジョニィ・ジョースターも「自分が1位」だともめそうになりまして
しかし中継地点だしポイント数や記録には関係ないという事で落ちつきまして……
はい
ここには電話とか来てんのか？

電報だけです
それと郵便、
それに宿泊施設はテントの他にシャワー付きホテル
レストランにバー……それにトコヤや簡宿屋などが……
ギギギ
ICE
ギギ
ギギ
ギギ
ギギ

オレの知り合いか？
おや！全然違ったあああ
だがなぜ他人の部屋へ入り荷物へ手をかける？
ジャイロ・ツェペリを探してるどこにいる？

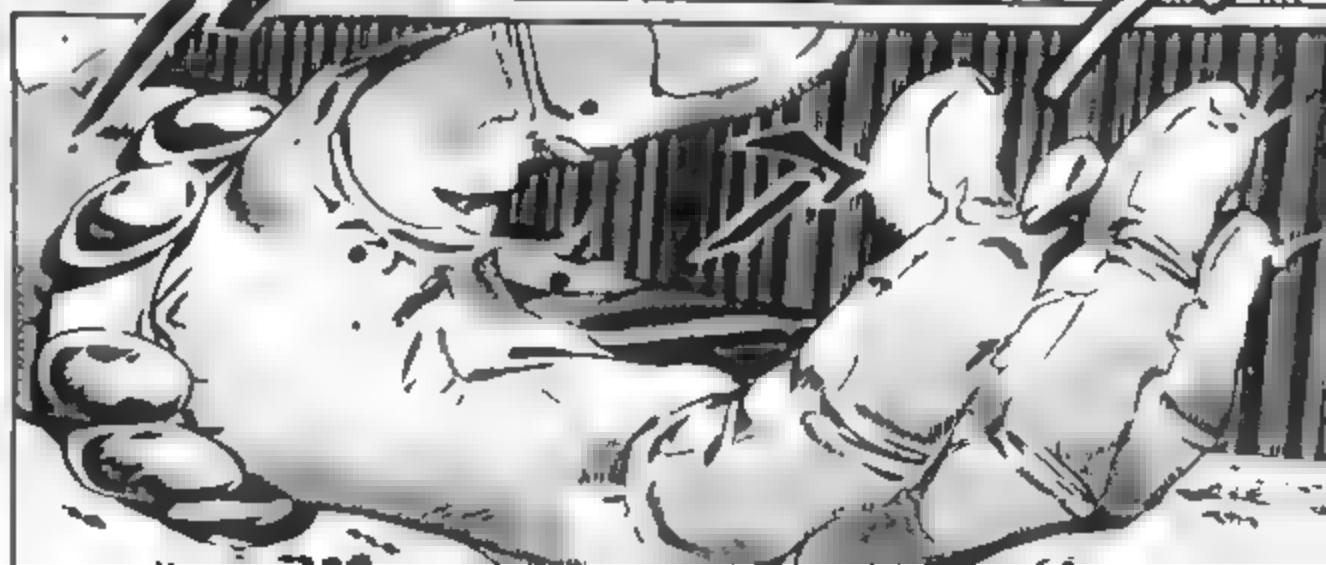
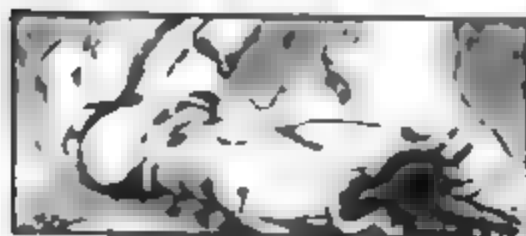
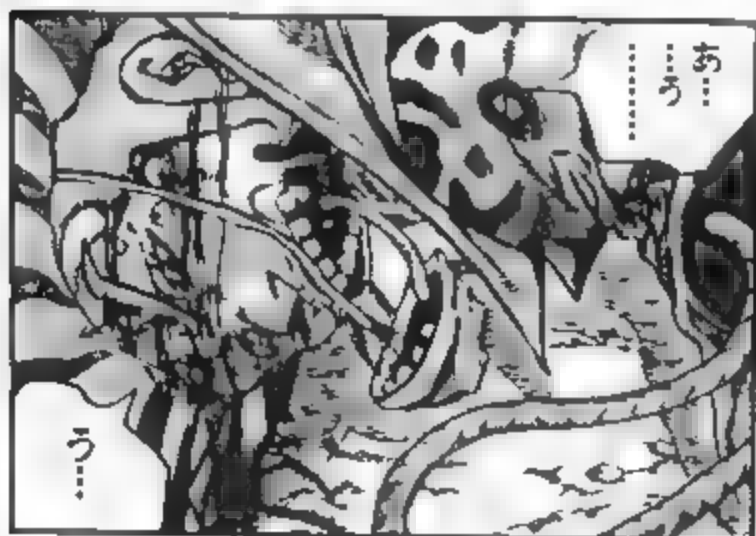
む！あったぞ…

この「手紙」のようだ…

おいきさまフザけてんのかッ!!

…………
！！
やはりジャイロ・ツェペリ
「国王の使い」から伝言を受け取っていたな…

北へ50km
―レッド・キャニオンにて―
「ゾンビ馬」を用意している。
手に入れろ。
「ゾンビ馬」はレースの疲れと傷を
癒す力を持っている。役に立つだろう。
なんだ……？
……ゾンビ馬って……
おっと……
忠告だが あんた まだ オレの
手からはなすなよ……
今、そこから距離をおくからよ
……指を広げると危険なんだ
……う……う……

カチッ
カチッ
カチッ

……
国王のために走る者はゆるさない
死んでもらうぞジャイロ・ツェペリ法務官

#22
遠い国から来たテロリスト
その①

ドーガーン
こっ……!?
これはッ!

なにか起こったんだァ——ッ!
ああっ!!
あれはッ!!

これはッ!!
マウンテン・テイムウッ!!

…………
あ……
…う
…………
う…
マ………
『マウンテン・ティムッ』!
生きているッ
体を口…ロープでバラバラにして!

う……
うぐあ…
く……
来るな……
ジャ……イに
オレの方に
……
この
爆発は……
……くっ
来るなッ！
オレから
離れろオーーッ
ジャイロ 近くに
潜んでいるぞォォーー!!
スタンド能力だアアッ!!

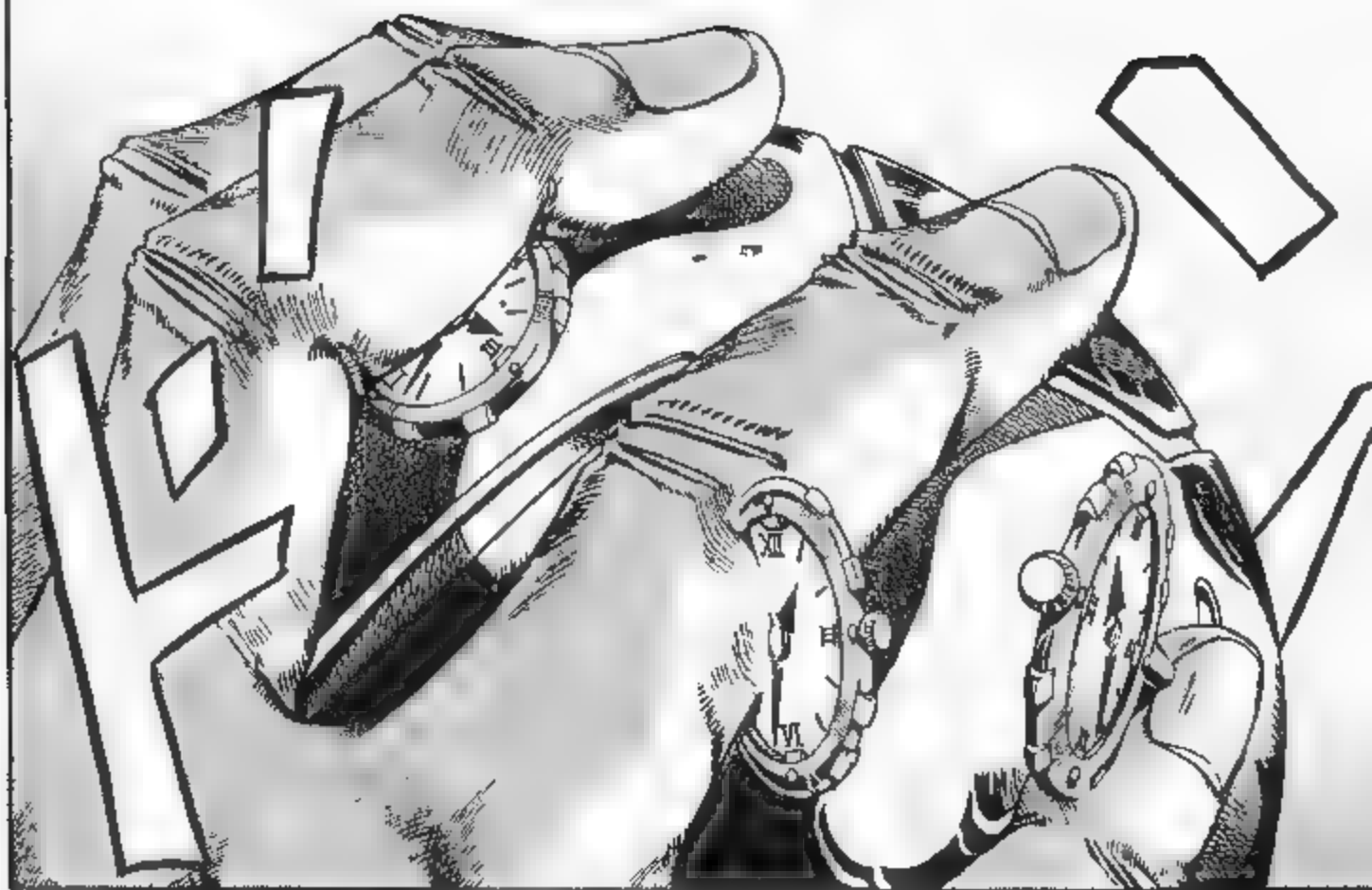
ドドドド

いるぞッ！ 絶対にそいつに
触られるなあッ！ そいつが敵だッ！
逃げろォオオオオーーーッ

なんなんだよォォ〜
あのカウボーイはぁぁ
〜〜〜〜〜〜〜
どォ〜ゆうう〜
体してんだああ
あああああ〜〜〜

おまえは……!!
久しぶりだな……ジャイロ…
ツェペリ………
くそっ!なんてこったッ!ジャイロ触られたぞッ!
………………
今ッ!ヤツに指で触られたッ!

!?

なんだ!?
こりゃあぁ〜〜

ジャイロ
おまえは
「部品」を
付けられたッ！

ドドド

それが
そいつの能力だッ
爆発するぞッ！

「部品」が
飛ばないように
手でおさえろッ！

!?

え？
なんだってェ
!?

いいからジャイロ　早く「部品」をおさえろォォーーーッ
オレの時と同じだッ!!
そのピンが飛んだら爆発したんだッ!
なんだよ……教えてんのかよ……
……
絶対指をはなすな!!
それが「ルール」だッ!
まるで「地雷」だったッ! その部品が空中にはじけ飛ぶッ! そしておまえの手は爆発するんだ!!
おしい

おい……どうなってんだ!?
しかも本物のみたいに「機械」見えるッ！4本くらい見えるぞ！
それが「スタンド」だッ！
「スタンド」とは精神のエネルギーのこと……オレたちの心の中にまるで存在するかのように見せ……
この時計みたいな「輪っか」！オレの指と一体化してるぞッ！
そして「破壊」もする！「爆発」もそのエネルギーだッ！
ピンがはじけ飛んでスイッチがはいるッ！
「地雷」といったのはそういう事だッ！ヤツはその間爆発の衝撃から安全なところまで離れることが出来るッ！

ああ……

名前は……「オエコモバ」

2年前
こいつは国王の馬車を爆弾で爆破したテロリスト!!
国王は乗ってなかったが巻きぞえで子供2人を含む5人が死亡した

そして
こいつは捕らえられて死刑判決を待っていたが脱獄した

獄中なぜか
ほんの少しの爆薬を
持っていて
看守の耳の中に入れ
爆殺!
脱獄したんだ
おまえのオヤジさんは
元気か?
ジャイロ・
ツェペリ
聞くところによると
処刑人の任務を
引退したそうじゃ
ないか?
オレの
脱獄に対して
責任を
とって…
そりゃそうだよなあ
部下である看守の死に
責任はあるよなあ
国王からの「任命」だ
もんなあ——
そしてこの
アリゾナの砂漠の道端は
神の御前だ
ブッたまげたがよオオオ
オレの
爆弾の特技は
この体の中の能力として
身についた…!
神から与えられた使命と
受けとったぜ!

ヤツ本体が死ねば//『能力』も同時に消滅するッ!

いろいろと
親切に指導するのも
いいけどよオオ
ジャイロッ！
鉄球だッ！
何か
蹴ってよこしたぞッ!!

違うっ シャイロッ！
ネズミから離れろッ！
近づかせるな——ッ!!

ピン

爆弾になっているッ!!

うおおあああっ!!
ジャイロ 手をはなすなァ!
手を決してはなすなァーーッ!!

「部品」が飛んだぞッ!!
ジャイロ! 手からピンがはずれたッ!

拾えッ！ジャイロッ！
そのピンを拾って手に戻すんだッ！
すぐに抜けた元の位置にピンを刺し込めッ
ピ…ピンが抜けた場所は……
手……手のひらからじゃあないのか……？鉄球を振ってる手の内側じゃあないのか？

とにかく
早く戻せッ！
爆発するぞオーーッ

ム……

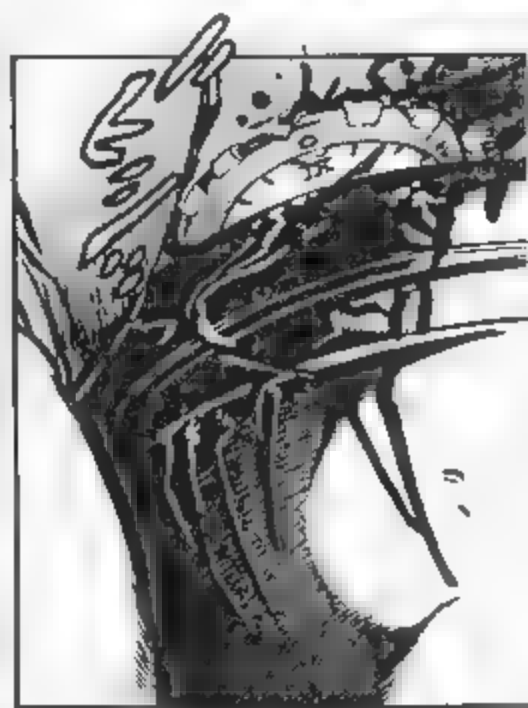
無理だッ
手の内側から
だ!!

元の位置に
戻そうと
スキ間を開けたら
さらに他の「部品」が
はじけ飛ぶッッ！

バキ…

バギッ

……手の甲側から
ピンを突き刺して手の内側へ……
やったッ！ピンが元の位置へ爆発しないいッ!!
……

フゥ〜〜〜
今すごく手に汗握っちゃったよなあ〜〜〜
砂漠でこの能力を身につけて丸4日だがオレは今 自分の能力の全てをここで理解したよ

神の御業に「弱点」はなかったってことをな……
せいぜいガンバってピンがはじけないよう押さえつけてなよ

ズッ

ジャイロ！ジョニィッ！
ヤツを絶対に逃がすなよッ！

逃げるもなにもさあ〜〜〜 もう終わりって言ったぜ……
ジャイロは あと1歩も歩けないさ…手に汗握れば握るほどなあああ——ッ

……

下がれジョニィッ！

オレに近づくなッ！

え!?

……気がついたかい
汗であろうとなんであろうとその手から離れるものは
それはピンが抜け落ちるという事だ
あ…汗がッ!!?
ジャイロ!手に汗をかいているのかッ!
汗といっしょに手の中のピンがしみ出て来てるというのかッ!
くそ!やってられねえぜッ!どうする…!?押さえれば押さえるほど汗をかいてくるぞッ!

ジワ
ジワ
ジワ
ジワ
ジワ

5個6個とピンがにじみ出て来ているぞッ!!

ゴゴゴ

ふき取れジャイロッ!汗をふき取るんだッ!

だめだッ!汗とピンが一体化しているッ!流れ出てくるぜ!

くそっ――っ ヤツをやるしかねえッ

MOO

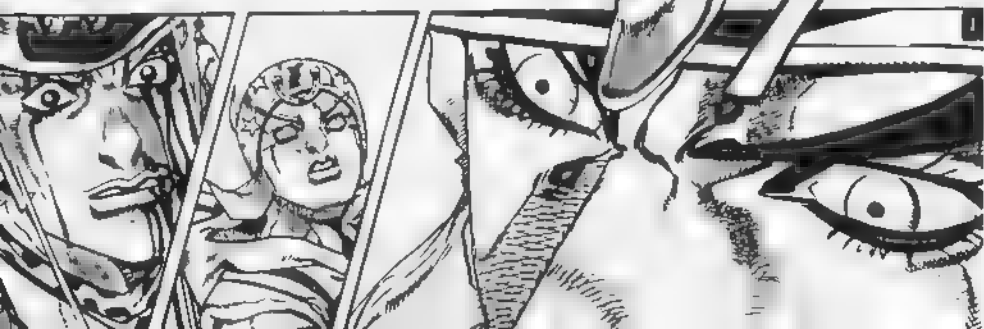
この鉄球を放り投げてやつをブッ倒すッ!

ダッ!!

それも
いいかもな～
どうせ
右手が吹っ飛ぶんなら……
一か八か
やるだけやって
鉄球を
投げてみるのも
いいかもな……
でも
手から
離れた瞬間
粉みじんだけどな……
ピンが抜け落ちたぞオオ
――――ッ!!
ジョニィッ!
もっと下がれッ!
もっと後ろに下がってろォ

ドドド
うおおおおおおおおおおお
ジャイロォ——ッ!!
ドドド
オラアアア——ッ

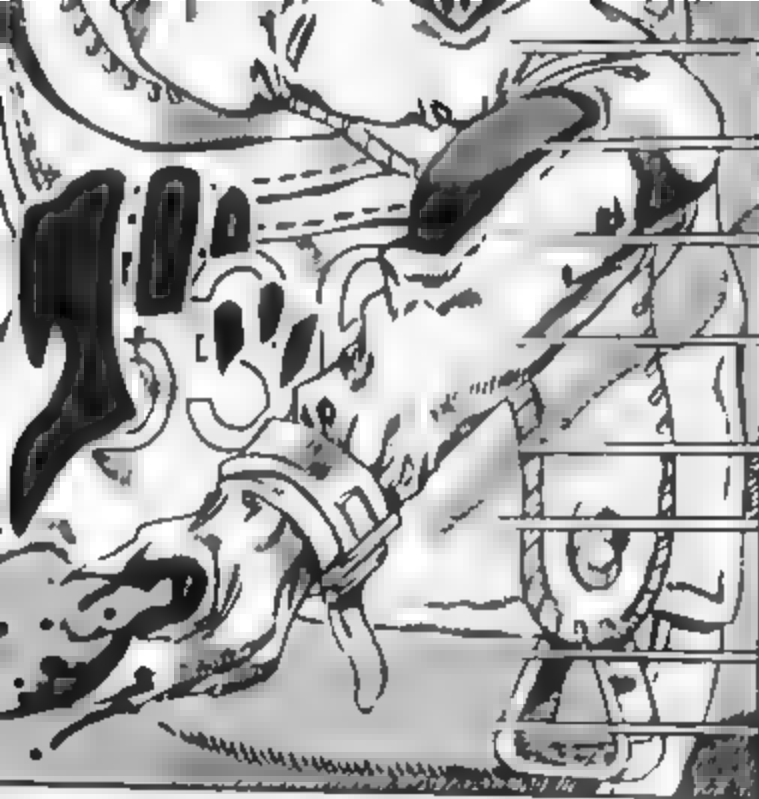
ズバババババ
バッ
オオオオ
オオ

ドガァ
アァァ
『最終奥義』
鉄球の回転の
ダメージの衝撃波を
体表を伝わらせて
足へ移させた
破壊は
移動した
あの野郎を
ブチのめす
この腕を失うよりは
マシってことさ…
ガ…
ガハッ！

ジャイロォーーーッ
グハッ
国王からの贈り物
「ゾンビ馬」を手に入れろ
「ゾンビ馬」は
「疲れ」と「キズ」を
いやしてくれる
!!
お……
追うのか……!!
ヤツを！
逃がすか……
オエコモバ
国王の「使い」からの
「手紙」に書いてあった
ヤツは手に入れる気だ

# #23 遠い国から来たテロリスト その②

ジョニィ！ヤツはオレの敵だッ！
この山を越す前にヤツを仕留める
ヤツはオレとオレの国だけの問題でおまえには関係ない！
いや…ジャイロ
ぼくも行くに決まってるだろ

いいか…
あのテロリストは今逃げているが危険は依然去っていないとオマエに言ってるんだぜ
オエコモバの方もこの場所でオレの事を絶対に始末しなければならないと思っている

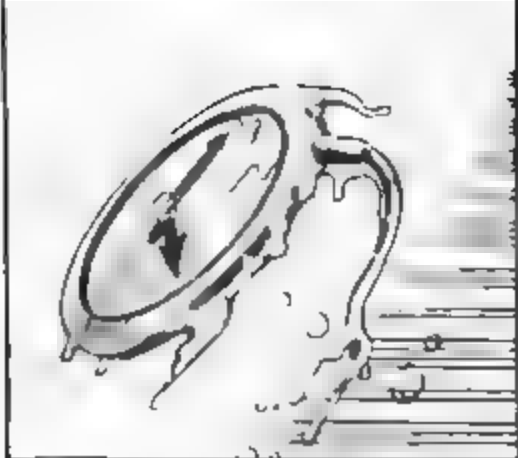
レッド・キャニオンで君の国王からの贈り物「ゾンビ馬」を手に入れるんだろ
それがどんなものか？ぼくは見てみたい
「全てのものの疲れをいやし」「負傷をも治してくれる馬」
もしかしてあんたのその右脚も治してくれるものなのか？
ドドド
ぼくの両脚はどうだ？

「触ってピンが飛んだら爆発」…という オレの能力の特徴が ヤツらに理解されてしまった…
オレもジャイロ・ツェペリの能力をキチンと理解しなくては…

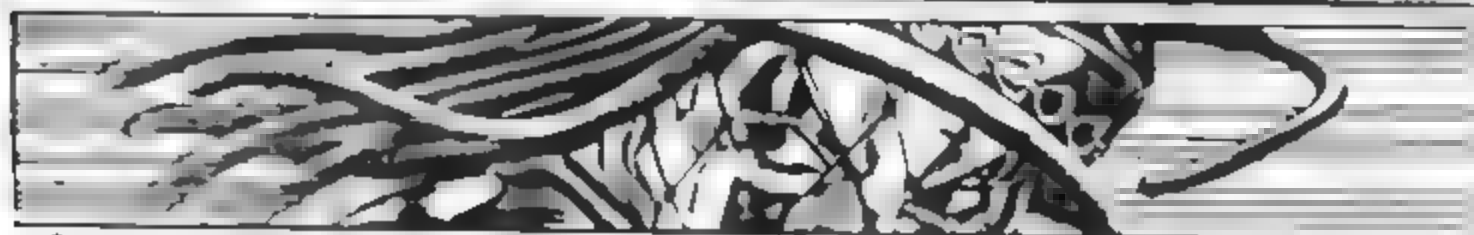
ジャイロの鉄球の飛投距離はどのぐらいか？
さっき町でくらった距離では血ヘドは吐かせられたが致命傷ではなかった
射程は20メートル以内といったところか…!?
それ以上近づかれたらオレはやられてしまう 離れると爆殺はムズカしい ヤツの射程ギリギリの外で攻撃しなくては……
この地形…オレは有利か!?それとも不利か!?
チョボ
チョボ
チョボ
チョボ

バシャア
?
ジャイロ あいつ 水筒の水をこぼしながら 走っているぞ

ジャイロ
水からあがれェエエ
ーーーッ!!
あいつ「水」を
にしているぞォォォ
ーーーッ

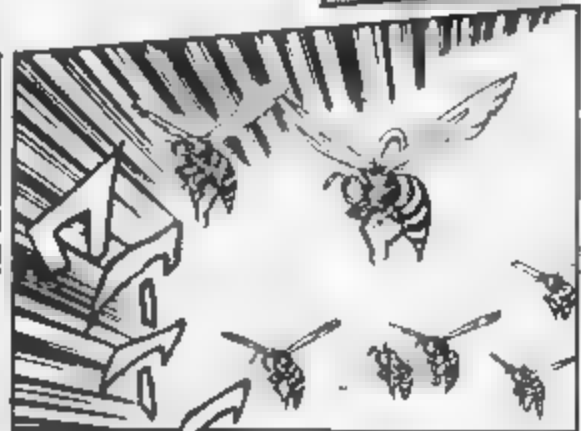
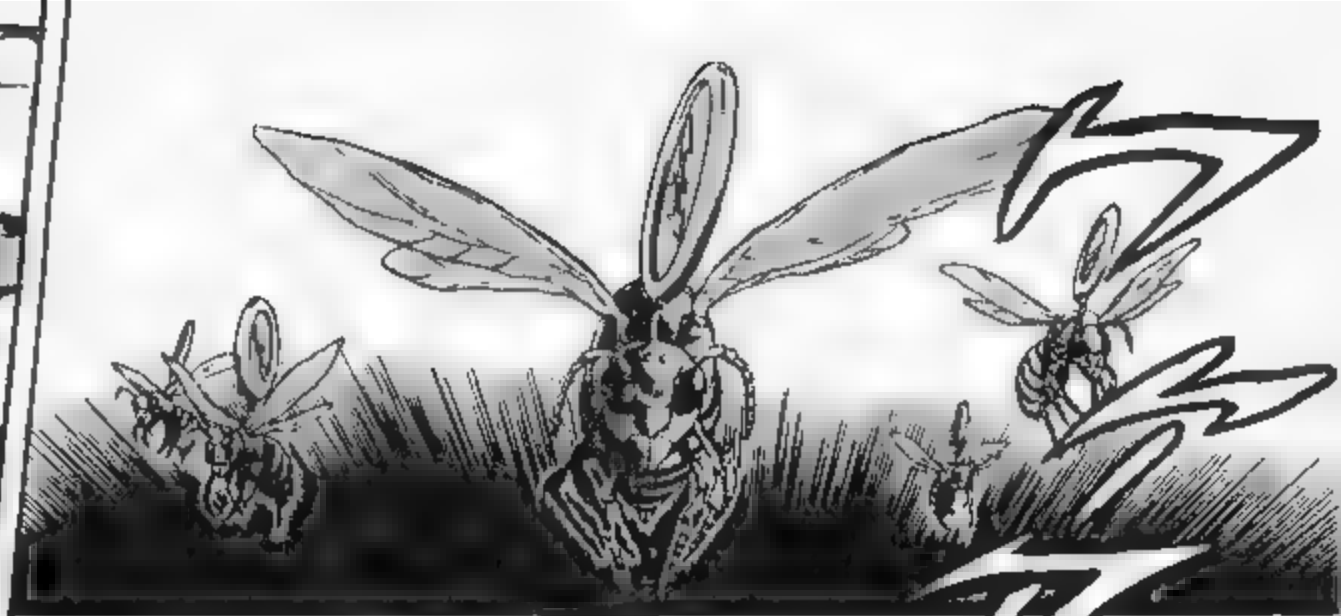
水にピンがつけられているッ！

川からあがれッ!!
岩にのぼるんだ
ああああッ！

「ヤツの地雷のピンに触れる」……
……だが爆破が起こるのは次の瞬間だ 逆に加速して馬の後方で爆破させるんだ
ここは突っ走るぜ……
馬の走行は ひと蹴り約4メートルのジャンプ 川から出て馬の足を止める方がマズイ

絶対に罠を
させるな/
15/いや
20メートルまで近づいて
たたき込む/

シャイロ・ツェペリ
いい気になりやがって やっぱり加速したな……
おれは おまえから逃げて いるんじゃあなくて ……おまえをこの川に ……追い込んでいるんだぜ

急斜面で川が登っているぞッ!!
このまま突っ込むッ!!
速度をゆるめるなッ!
このままの速度でヤツと同じに登り切るんだッ!
滝だ!! ジャイロオオオ————ッ
爆破位置がせまってくる!!

あいつ！
今度は走りながら何かをたたき落としたぞッ!!

『蜂の巣』だーーッ!!

襲ってくるッ！
全部の『蜂』に
『部品』が付けられているぞオオオ――――
一匹一匹
切り飛ばすしかない
『オレの指のカッター』でッ！
爆発もせまってくるッ！！
ドドド
ドドドドド

速度を落とすなッ！
ジョニィ!!
やるしかねえッ！
ここから鉄球をブチ込む!!

オラアアア!!
ドギャーン

距離は
優に
30~40メートルは
ある!!
仮にオレまで
とどいたと
しても
さっきと同じッ!
致命傷にはならないねッ!
オレの刃槍の威力の方が上だッ!
剣をくらって落馬するのは
お前えらの方だッ!

なに!?

ヒタ
ヒタ
ヒタ
クモの巣で
蜂に触れた！
伏せろ
ジョニィーーッ！
ビン

やったッ!
切ったぞォ——ッ!!

!!?
うぐっおおお!!
ジャイロオオオオオーーッ!!

こ…これは!!
オ…オレの口の中ガッ……

ドドドドド

ドドド

ジャイロッ!?

ジョニィ
口を開けるなッ!

呼吸を止めろ!!
馬にも呼吸をさせるなッ!

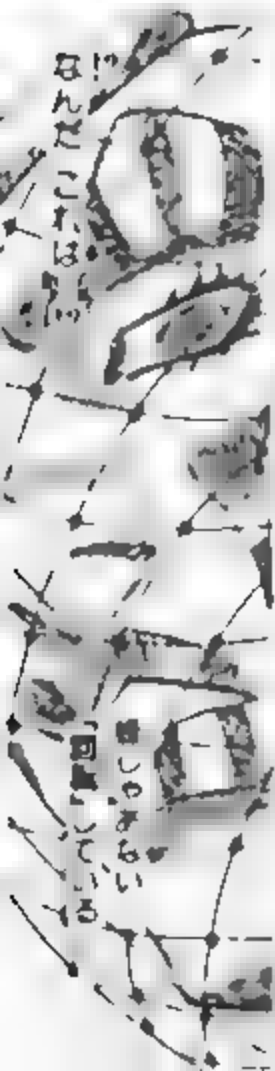
この臭いはッ!!

この山岳地帯でおまえらに送り込んでいたのは
「水」と「蜂」だけだと思ったか？

吸い込んで吐き出したモノ！オレが触れるモノは全て！地獄に出来るッ！

この山岳地帯を脱出したら
国に帰って この能力で国王でも
暗殺してやるぜエエーーーッ

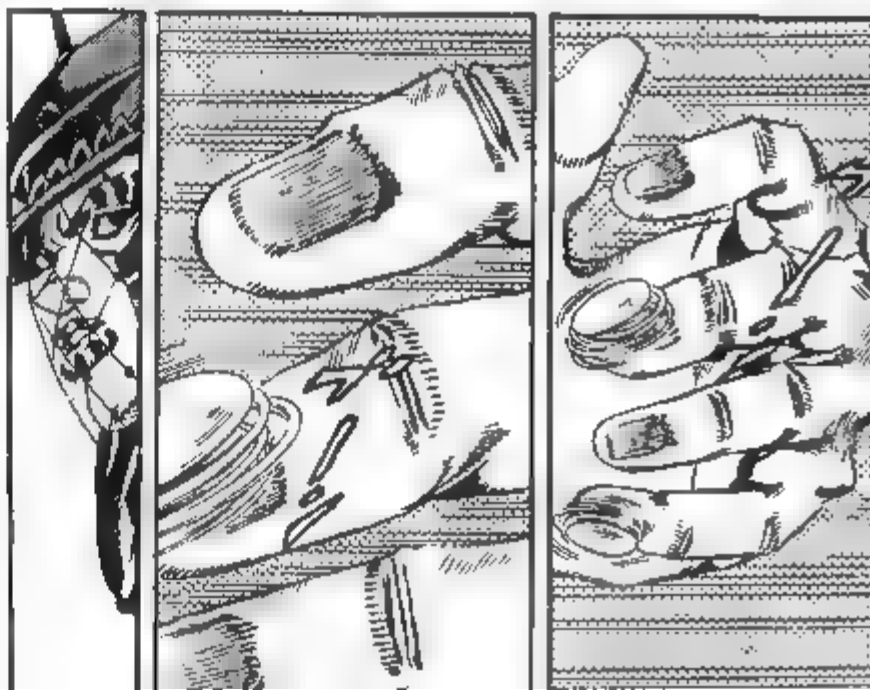
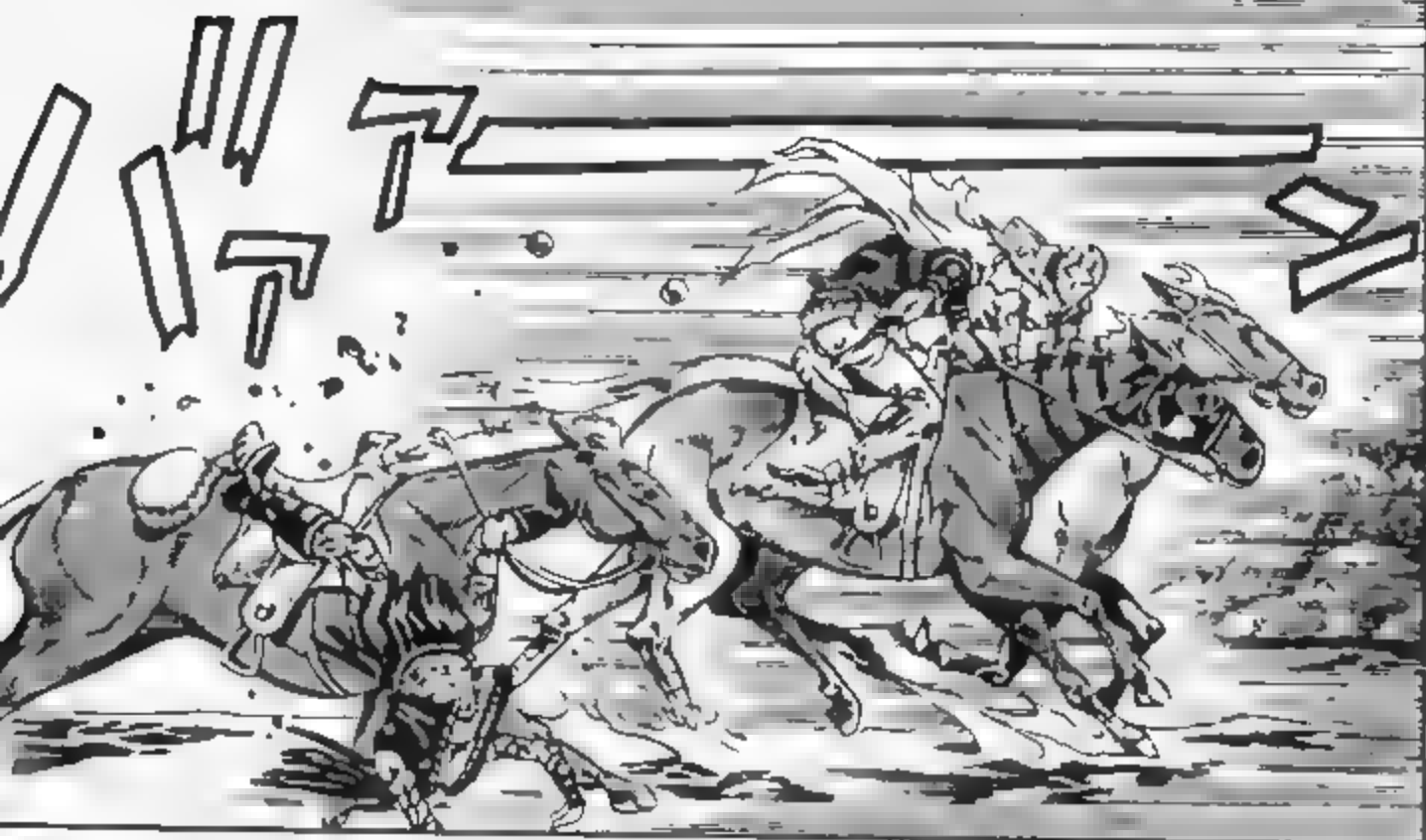
これは!!
まさか!!
クモの糸をつけてるッ!
さっきの!!!
さっきやってたのかッ!!
あの糸をくっつけた蜂!!オレに……

クソ甘いぞッ!
このオエコモバ自身が
地雷にした体で!
このオレを
吹き飛ばそうって考えか――ッ
ブッち切ってやるぜッ!!
!?
なんだこれは…ッ
「回転」している

さっきの蜂は全て爆破したかどこかへ飛んでいった
その……虫の羽音をたてているのは
ジョニィの爪の回転
自分が爆弾にした蜂の音と思い込んだようだな
そして糸を切ろうと引き寄せたな
つまり！射程距離を引き寄せた！
『その爪の回転でパワーアップ！』
オレの鉄球の撃墜飛投距離をッ！

はっ!!

もいっぱああ
あああつッ!!
うわあ
ああああ

バァアーーン

オレたちだッ!

4ジャイロ・ツェペリの宿命(完)

■ジャンプ・コミックス

STEEL BALL RUN

**4** ジャイロ・ツェペリの宿命

2004年11月9日　第1刷発行

著者　荒木飛呂彦



編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　鳥嶋和彦

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(3230)6233(編集)
03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)

Printed in Japan

印刷所　中央精版印刷株式会社



ISBN4-08-873689-3 C9979

荒木飛呂彦のコミックス
大好評発売中!!
荒木世界を読みつくせ!!
HIROHIKO ARAKI PRESENTS
ありとあらゆる手品やトリックを、自在にこなす不思議な転校生ビーティー。友人の公一と魔少年ビーティーが体験する様々な怪事件に、数々の奇抜なトリックが登場する！ 荒木飛呂彦渾身の連載デビュー作！
魔少年ビーティー
●ジャンプコミックス 新書判 全1巻
●集英社文庫<コミック版> 全1巻
秘密機関ドレスが創り出した最強の生物兵器・バオー。橋沢育朗に寄生し、ドレスから脱走したバオーに、暗殺者たちが次々と襲いかかる！ その時、育朗の中に眠る無敵の生命バオーが覚醒する!!
バオー来訪者
●ジャンプコミックス 新書判 全2巻
●集英社文庫<コミック版> 全1巻

☆レース最大の敵!!特別前後編前編
センターカラー37P!!
6000km彼方の極彩色の栄光——
虹色の嵐を越え——
☆JCの名作「ジョジョの奇妙な冒険」①～63&
「ストーンオーシャン」①～⑰絶賛発売中!!
時を越えた傑作を体験せよ!!
JC「スティール・ボール・ラン」③&④
11月4日(木)同時発売決定!!
このぜいたくな体験!!
STEEL BALL RUN
スティール・ボール・ラン
#22 砂漠の猛爆
荒木飛呂彦
&LUCKY LAND COMMUNICATIONS